

令和 2 年 刊 行

消 防 年 報

笛 吹 市 消 防 本 部

ま え が き

この年報は、笛吹市消防本部の令和元年／平成31年中における消防諸般の状況を集録し、今後の消防行政等の参考に資するとともに、消防の実態を紹介するために編集したものです。

この年報を通じ、関係各位の消防行政に対するご理解をいただき、ご指導を賜われれば幸甚でございます。

なお、各項目については、原則として暦年をもって表し、これによりがたい項目については、それぞれに記載した年・月・日をもって表してあります。

令和2年7月

笛吹市消防本部

目 次

概 要

笛吹市消防本部のあゆみ	1-9
笛吹市の位置、地勢、人口	10
笛吹市消防本部管内図	11
施 設	12-14

総 務

笛吹市消防本部組織図	15
消防本部・消防署事務分掌	16-18

職 員

配置状況	19
年令別表・勤続年数	20

予 算

平成31年度笛吹市一般会計歳出予算	21
平成31年度消防費予算内訳	21

警 防

車両配置経過表	22
消防相互応援協定書等	23
消防水利現況	24
管内トンネル状況	25
各種訓練参加・実施・指導等状況	26

火災 救助 救急

火 災

火災概況	27
過去5年間における町村別火災発生状況の推移	27
町別火災発生状況（発生件数）	28
町別火災発生状況（損害額）	29
月別・曜日別火災発生状況	30
出火時間別火災発生状況	31
原因別火災発生状況	32

その他の災害

その他災害等発生状況	33
火災・その他災害等覚知別出動状況	33

救 助

救助出動件数	34
覚知別出動状況	34

救 急

救急出場概況	35
過去5年間の救急出場の推移	35
町別・種別出場件数	36
町別・種別出場件数（グラフ）	37
月別出場状況	38
種別・曜日別救急出場件数	39
種別・時間別救急出場件数	40
急病分類傷病程度別搬送人員	40

年令区分別搬送人員	41
救急事故発生場所・傷病者住所管内外別搬送人員	42

予 防

防火対象物件数	43
中高層建築物数	43
予防技術資格者配置状況	44
防火対象物表示制度に係る申請数	45
着工・設置届出受理状況	46
建築同意届出件数	47
各種届出状況	48
危険物	
危険物施設状況	49
指定可燃物、少量危険物施設届出状況	49
危険物施設比較表	50
申請等件数	51
立入検査状況	51
過去5年間設置・変更の推移	52
広報・訓練	
防火図画ポスターコンクール	53
広報実施状況	54
住宅防火診断実施状況	55

通 信・気 象

通 信

有線電話 (加入)	56
携帯電話	56
消防無線電話等	56
通信指令室通信設備等	56
通信系統図	57

気 象

瞬間最大風速 7 m/s 以上の月別区分	58
月別気象統計	58
雨量・気温比較	59

消 防 団 等

消防団概要 (団員等)	60
消防団概要 (車両・装備等)	61

概

要



日本一の桃源郷



笛吹川 花火大会

笛吹市は、笛吹川に沿って広がる平坦地を中心とし、北は秩父山系、南は御坂山系に囲まれる盆地地形となっています。市内には、温泉街や桃・ぶどうの果樹園をはじめ豊かな自然、遺跡群や社寺などに恵まれています。



市の鳥 オオルリ



市の木 桃



市の花 バラ



市章

イニシャル「F」をモチーフに、未来(天)に向かって伸びる躍動的な姿を表現。色のブルーは笛吹川の流れと豊かな自然の潤いを象徴しています。

笛吹市消防本部のあゆみ

昭和44年4月～令和2年4月

昭和44年	4月28日	県消防防災課において「市町村消防力広域促進要綱」を発表
〃	9月29日	県消防防災課主催の「消防力広域化打合せ会」を東八代地方県民室において開催、消防事務担当課長及び消防主任が出席。 県消防防災課より説明があり関係町村の意向及び意見交換を行なった。
〃	10月 9日	郡町村会において、広域消防について協議を行なった。
昭和45年	4月23日	郡町村会、議長会定期総会において広域消防について東八代地方県民室長から説明があり意見交換を行なった。
〃	5月18日	東八代郡町村自治研究班（町村総務課長）が発足し、消防力広域化を本年の研究課題とし、調査研究することとした。
〃	6月23日	町村消防担当課長及び消防主任による打合せ会を開催し、県消防防災課から「消防力広域化及び常備消防」について説明があり、各町村の意見交換を行なった。
〃	6月29日	郡町村会の席上、6月23日開催の打合せ会の結果を説明し、関係町村の意見交換を行なった。
〃	7月28日	郡町村会、郡議長会共同主催による「消防力広域化及び常備消防」についての研究会を開催した。
〃	9月16日	管内各町村消防団長、消防担当課長及び消防主任出席のもとに「消防力広域化研究会」を開催した。
〃	9月25日	自治研究班幹事会を開催し、消防力広域化及び常備消防について特に財政問題を中心に協議を行なった。
〃	10月 7日	郡町村会において、広域消防促進について重ねて協議を行なった。
〃	10月16日	郡町村会の席上「広域消防設置」について協議した。
〃	10月29日	郡町村会において、石和町から出された本署設置の条件について、協議を行なったが結論は得られなかった。
〃	11月16日	郡町村会において広域消防設置について協議を行ない、11月20日開催予定の郡町村会において結論が得られるよう各町村とも地域事業を分析し、検討を行なうことにした。
〃	11月20日	郡町村会を開催し、昭和46年4月1日発足を目標に、「広域消防設置をすること」で意見が一致し、設置への最終的結論を得た。
〃	11月30日	消防組織整備促進協議会設立準備を開催した。
〃	12月 9日	東八消防組織整備推進協議会設立総会を開催し、規約の制定、事業計画、予算の決定とあわせて役員の選出を行なった。

昭和46年	1月 6日 ～ 1月20日	事務局において、東八消防組織整備計画の原案作成作業に着手。原案を完成した。
〃	1月18日	山梨県知事に昭和45年度広域消防組織整備促進補助金交付申請書の提出を行なった。
〃	1月27日	第1回理事会を開催し、東八消防組合理約（案）東八消防組織整備計画（案）及び今後の事業日程について審議を行なった。
〃	3月18日	各町村議会で議決された東八消防組合理約をとりまとめ、山梨県知事に一部事務組合設立許可申請書の提出を行なった。
〃	〃	一部事務組合の設立が許可された。（昭和46.3.18山梨県指令地第3-59号）
〃	3月26日	東八消防組合が設立されたため、消防組織整備推進協議会を解散した。初代管理者に後藤通夫氏（石和町長）が就任した。
〃	4月 1日	石和町市部小林公園内の市部中央公民館内に、東八消防本部及び東八消防署が設置され、初代消防長に坂名井史朗が就任した。 職員定数60名と決定された。
〃	4月 5日	東八消防組合理事会が開催された。
〃	4月16日	東八消防組合議会臨時会が招集された。 議長に杉原明氏（石和町議会議長）が選任された。
〃	4月29日	二代目管理者に佐野猛氏（石和町長）が就任した。
〃	6月 1日	職員8名をもって警防及び救急業務を開始した。（ポンプ車1、救急車1）消防組織法による政令指定（自治省告示第110号）。
〃	11月23日	石和町下平井204番地内に東八消防組合、東八消防本部署、中道町右左口3187番地内に中道出張所の庁舎建設が着工された。
昭和47年	3月28日	庁舎全部の工事が完了したので、東八消防組合設立並びに庁舎竣工記念式典を開催した。
〃	4月 1日	新庁舎に移転を完了し、職員29名をもって全面的に消防業務を開始した。
昭和48年	8月	職員定数条例を改正し、37名とした。
昭和49年	3月31日	東八消防本部署新館1階車庫が竣工した。
〃	10月15日	東八消防本部署新館2階が竣工した。
昭和50年	7月 1日	東八消防本部署新館3階が竣工した。
〃	〃	御坂町金川原966番地7内に東部出張所を開設した。
〃	7月16日	境川村小山1678番地6内に中部出張所を開設した。
昭和51年	4月 1日	職員定数条例を改正し、43名とした。
昭和52年	3月31日	高圧ガス製造所（自己呼吸器ボンベ高圧空気充填所・オイルレスコンプレッサー使用）が完成した。

	〃	〃	東八消防本部に水槽付ポンプ自動車兼化学車兼給水車4台を整備した。
	〃	3月31日	消防用無線電話247局の整備が完了し、これで管下全町村及び集落まで無線網が完成した。
	〃	10月30日	東八消防本部構内に自家給油所（地下式10k1タンク）及び消火貯水槽（A80m ³ ）が完成した。
	〃	11月15日	議長に早川芳郎氏（石和町議会議長）が選任された。
	〃	12月20日	東八消防本部に地震対策自家発電装置を設置した。
昭和53年		4月30日	駐車場兼訓練場設置のため用地2,178m ² を取得した。
	〃	8月30日	本部庁舎4階及び高所見張所（370m ² ）が完成した。
昭和54年		4月	職員待機宿舎設置のための用地748.0m ² を取得した。
	〃	4月29日	管理者に天野建氏（石和町長）が就任した。
	〃	5月	訓練場夜間照明設備（4基、18KW）完成した。
	〃	8月	大震対策として小型ポンプ付水槽車（2,000ℓ）を本署に配備した。
昭和55年		3月27日	議長に風間通利氏（御坂町議会議長）が選任された。
	〃	4月 1日	消防長に須田秀誉が就任した。
	〃	9月	職員待機宿舎整備のため用地518m ² 、建物175m ² （木造2階瓦葺）を取得した。
	〃	12月11日	議長に岩間芳郎氏（石和町議会議長）が選任された。
	〃	〃	職員定数条例を改正し、46名とした。
昭和56年		12月26日	議長に三橋皓太郎氏（石和町議会議長）が選任された。
	〃	〃	本部車庫増築（72.0m ² ）シャッター工事が完成した。
昭和57年		3月23日	東八消防組合設立10周年式典を行なった。
	〃	9月30日	消防救急指令台を整備した。
	〃	10月 2日	消防長に早川卓が就任した。
	〃	11月10日	中央自動車道西宮線全面開通に伴ない救急業務を開始した。
昭和58年		1月 6日	東八消防本部の本部旗を樹立した。
	〃	3月25日	気象観測装置を設置した。
	〃	〃	大震対策として車両分散配置用車庫（144m ² ）を新築した。
	〃	3月31日	一部事務組合複合化に伴ない、東八消防組合を解散した。
	〃	4月 1日	広域行政事務組合の設立が許可され、東八代広域行政事務組合東八消防本部として発足する。職員定数45名とした。 代表理事に天野建氏（石和町長）が就任した。 議長に三橋皓太郎氏（石和町議会議長）が選任された。
	〃	11月26日	職員定数条例を改正し、50名とした。
	〃	12月13日	大震対策として電源車（15KVA）を本署に配備した。

	12月22日	議長に田中満穂氏（石和町議会議長）が選任された。
	12月27日	東八代広域行政事務組合職員の定年等に関する条例を制定した。
昭和59年	12月28日	住民の訓練用として本部屋上に垂直式救助袋を設置した。
昭和60年	8月31日	東八消防署東部出張所に水槽（1,500ℓ）付ポンプ自動車を更新配備した。
	10月29日	議長に若杉博氏（石和町議会議長）が選任された。
	10月31日	東八消防本部庁舎2階を改築した。
	12月 6日	東八消防署に化学消防ポンプ自動車（型水槽1,300ℓ、薬液500ℓ）を配備した。
	12月18日	東八消防署中道出張所庁舎改築並びに車庫（98㎡）を新築した。
昭和61年	7月25日	東八消防署中道出張所に水槽（1,300ℓ）付ポンプ自動車を更新配備した。
	9月 8日	東八消防署庁舎を改修した。
	12月25日	東八消防署にはしご付消防自動車を更新配備した。
昭和62年	4月 1日	消防長に相原梅夫が就任した。
	〃	職員定数条例を改正し55名とした。
	7月21日	東八消防署中部出張所に水槽（1,300ℓ）付ポンプ車を更新配備した。
	10月 1日	東八消防署に指揮車を更新配備した。
	12月 8日	東八消防署に複信式救急無線設備を設置し救急業務の円滑化を図った。
	12月26日	組合議会議長に筒井照光氏（石和町議会議長）が選任された。
昭和63年	2月29日	東八消防署に救助工作車を更新配備した。
	3月28日	職員定数条例を改正し57名とした。
	4月 1日	東八代広域行政事務組合施設設備基金条例を制定した。
	〃	消防本部・署の機構改革を行ない、消防本部を2課4係、消防署を4係制とした。
	12月26日	組合議会議長に内川勝太郎氏（石和町議会議長）が選任された。
平成元年	3月25日	東八消防署に救急車（2B型）を更新配備した。
	4月 1日	芦川村の火災・救急対応のため職員1人が役場内に常駐し、業務を開始した。
	9月 7日	東八消防署に「ジープ型」事務連絡車を配備した。
	10月30日	組合議会議長に古屋太朗氏（石和町議会議長）が選任された。
平成 2年	4月 1日	職員定数条例を改正し60名とした。
	4月26日	東八消防本部に事務連絡車を更新配備した。
	12月 1日	代表理事に石原昭夫氏（石和町長）が就任した。
	12月17日	救助訓練塔施設を更新、整備した。

平成 3年	3月13日	東八消防署に救急車（2B型）を更新、配備した。
〃	4月 1日	緊急通報システム（ふれあいペンダント）を設置、運用開始した。
〃	8月15日	東八消防本部に広報車を更新配備した。
〃	12月26日	組合議会議長に志村典夫氏（石和町議会議長）が選任された。
平成 4年	4月 1日	消防緊急通信指令施設を導入、運用開始した。
〃	〃	職員定数条例を改正し、66名とした。
〃	7月23日	（財）日本消防協会から救急車（2B型）の寄贈を受け、東八消防署に配備した。
〃	8月28日	東八消防署に事務連絡車2台を更新配備した。
〃	10月 1日	職員の週40時間勤務体制を試行実施した。
〃	10月20日	消防本部2、3階の改装を行なった。
平成 5年	3月23日	東八消防署に救急車（2B型）を更新配備した。
〃	3月29日	組合議会議長に望月利夫氏（石和町議会議長）が選任された。
〃	3月30日	携帯無線機（39基）を更新配備した。
〃	4月 1日	職員定数条例を改正し、75名とした。
〃	〃	消防長に、内藤勝が就任した。
〃	7月20日	東八消防署屋上防水工事を行なった。
〃	12月27日	組合議会議長に竹村孝氏（石和町議会議長）が選任された。
平成 6年	1月 1日	職員の週40時間勤務体制を完全実施した。
〃	10月31日	東八消防署中道出張所に事務連絡車を配備した。
〃	12月20日	はしご付消防自動車の分解整備点検を行なった。
〃	12月26日	組合議会議長に田中和芳氏（石和町議会議長）が選任された。
平成 7年	3月30日	東八消防署に消防ポンプ自動車（CD-1型）を更新配備した。
〃	3月31日	救急の高度化に伴う救急救命士用の救急資機材を救急車1台に装備した。
〃	10月 1日	組合議会議長に網倉昌司氏（石和町議会議長）が選任された。
〃	〃	訓練場兼駐車場用地（下平井277～1…1,438㎡、同…270.39㎡）を借用し、舗装工事を完了した。
平成 8年	3月12日	用地（下平井204～2）756.46㎡を取得した。
〃	3月28日	東八消防署に高圧ポンプ付水槽車（4,000ℓ）を更新配備した。
〃	6月17日	山梨県遊技業協同組合から指令車（4WD）の寄贈を受けた。
〃	10月 7日	組合議長に上野定治氏（石和町議会議長）が選任された。
〃	11月14日	甲府商工信用金庫から救急車（2B型）の寄贈を受けた。
平成 9年	1月17日	東八消防本部・署庁舎建設基本計画書が完成した。
〃	4月 1日	消防長に、吉原正弘が就任した。
〃	5月30日	芦川出向車両（多目的車）を更新配備した。

	6月23日	中道町右左口3188番地（614.0㎡）を訓練場兼駐車場用地として借用し、舗装工事を完了した。
	10月 1日	本部、署及び出張所の組織を改正し、2課16係とした。
	10月31日	物資搬送用トラックを更新配備した。
	11月 5日	土地（305.34㎡）を石和町に売却した。
	12月25日	組合議長に野沢勝利氏（石和町議会議長）が選任された。
平成10年	3月 7日	東八消防本部、署庁舎建設実施設計書が完成した。
	3月27日	自家用給油取扱所を移設した。
	4月30日	用地（下平井243外）583.34㎡を取得した。
	12月 1日	東八消防署に高規格救急車を更新、配備した。
	12月24日	組合議長に井上忠雄氏（石和町議会議長）が選任された。
平成11年	3月25日	組合議長に梶原知義氏（御坂町議会議長）が選任された。
	3月31日	東八消防署に倉庫（128.70㎡）を新築した。
	〃	東八消防署にホース乾燥塔及び水槽設置工事が完成した。
	11月22日	東八消防署に水槽付消防車（1,700ℓ）を更新、配備した。
平成12年	4月 1日	消防長に志村康彦が就任した。
	5月18日	組合議長に上野元昭氏（御坂町議会議長）が選任された。
	7月20日	東八消防本部旗を更新した。
	10月 1日	火災、救急統計システムを導入した。
	〃	本部、署及び出張所の組織を改正し2課22係とし、勤務体制を三部制に移行した。
	10月13日	東八消防署東部出張所に水槽付消防ポンプ車（1,700ℓ）を更新配備した。
平成13年	3月22日	日本損害保険協会から高規格救急車の寄贈を受けた。
	6月13日	組合議長に雨宮良孝氏（一宮町議会議長）が選任された。
	8月14日	用地（下平井205-1）281.7㎡の土地交換を完了した。
	10月30日	東八消防署中道出張所に水槽付消防ポンプ車（1,700ℓ）を更新配備した。
平成14年	3月 6日	日本損害保険協会から化学消防ポンプ車の寄贈を受けた。
	5月23日	東八消防本部に事務連絡車2台を更新配備した。
	10月 4日	東八消防署中部出張所に水槽付消防ポンプ車（1,700ℓ）を更新配備した。
	11月19日	代表理事に荻野正直氏（石和町長）が就任した。
平成15年	4月 1日	消防長に中込光夫が就任した。
	7月11日	組合議長に樋口猛氏（八代町議会議長）が選任された。
	9月17日	東八消防署に広報車を更新配備した。

	11月28日	東八消防署に救助工作車を更新配備した。
	12月17日	東八消防本部、署庁舎免震構造基本設計書、実施計画書が完成した。
平成16年	1月 1日	職員定数条例を改正し、83名とした。
	2月10日	東八消防本部、署庁舎建設起工式を行った。
	3月30日	日本損害保険協会から高規格救急車の寄贈を受けた。
	4月 1日	本部の組織を改正し、3課6係とした。
	7月26日	東八消防署に広報車を更新配備した。
	10月12日	組合構成町村の内4町1村（石和町・御坂町・一宮町・八代町・境川村）と東山梨郡春日居町が合併し、笛吹市となる。
	〃	東山梨消防本部より山梨消防署春日居分署を移管された。
	〃	職員定数条例を改正し90名とした。
	11月22日	代表理事に荻野正直氏（笛吹市長）が就任した。
	12月 1日	東八消防本部、署庁舎部分の工事完了により開署式を催した。
	12月 6日	旧庁舎の解体開始。
	12月 7日	東八代広域行政事務組合の構成市町村が1市、1町、2村となり組合議長に龍澤敦氏（笛吹市議会議長）が選任された。
	12月24日	東八消防署春日居出張所庁舎改築並びに車庫（60.78㎡）を新築した。
平成17年	3月 3日	東八消防本部・署庁舎及び訓練塔の工事が完了し庁舎落成式典を催した。
	9月16日	東八消防署に消防ポンプ自動車（CD-1）を更新配備した。
平成18年	2月20日	組合構成市町村の内、豊富村が中巨摩郡2町村と合併し中央市となり離脱し、1市1町1村となった。
	3月 1日	組合構成市町村の内、中道町が甲府市と合併し甲府市となり離脱し、1市1村となった。
	3月 6日	携帯119番直接受信装置を設置し、運用開始した。
	4月 1日	消防長に中村健が就任した。
	〃	東八消防署中道出張所を甲府地区消防本部に移管した。
	7月31日	組合構成市村の笛吹市と芦川村の合併に伴い、東八代広域行政事務組合（東八聖苑は継続）より東八消防本部が離脱する。
	8月 1日	組合構成市村の笛吹市と芦川村が合併し、笛吹市となる。 本部名を笛吹市消防本部、署名を笛吹市消防署に名称変更した。
平成19年	1月17日	春日居出張所に高規格救急車を更新配備した。
	4月 1日	消防長に宇野光男が就任した。
平成20年	3月19日	笛吹市消防署にはしご付き消防自動車（35m先端屈折式伸縮水管付）を更新配備した。

	〃	4月 1日	消防長に金井一貴が就任した。
	〃	〃	職員定数条例を改正し、85名とした。
	〃	11月16日	春日居出張所に水槽付消防ポンプ自動車（1,700ℓ）を更新配備した。
平成21年		10月 5日	中部出張所に高規格救急車を更新配備した。
平成22年		3月 1日	訓練用地（下平井270番地・277番地1）1477㎡を取得した。
	〃	7月 1日	東部出張所に高規格救急車を更新配備した。
平成23年		3月10日	笛吹市消防署に照明車（軽自動車）を更新配備した。
	〃	3月11日	東日本大震災の発生に伴い、山梨県緊急消防援助隊として、第1次隊～第4次隊 第6次隊～第7次隊 延べ14隊 44名の消防吏員を派遣した。
	〃	4月 1日	消防長に中込富美雄が就任した。
平成25年		2月28日	笛吹市消防署に広報車（軽自動車）を更新配備した。
	〃	4月 1日	消防長に風間勇が就任した。
	〃	10月 9日	高機能消防指令センターシステム及び消防救急デジタル無線システムの実施設計が完了した。
	〃	11月28日	笛吹市消防署に事務連絡車（軽自動車）を更新配備した。
平成26年		2月14日	山梨県全域で過去最大の積雪を記録し、笛吹市に甚大な被害をもたらした。
	〃	2月26日	笛吹市消防署に原因調査車を更新配備した。
	〃	3月 7日	高機能消防指令センターシステム及び消防救急デジタル無線システム整備工事を着手した。
	〃	4月 1日	消防本部指令課を新設し、本部・署4課10担当とした。
	〃	8月27日	笛吹市消防署に芦川連絡車を更新配備した。
	〃	9月27日	長野県と岐阜県にまたがる御嶽山の噴火災害が発生し行方不明者が発生した。この災害に際し緊急消防援助隊救助部隊として第1次隊から18次隊 延べ36隊111人の消防吏員を派遣した。
平成27年		3月18日	笛吹市消防本部に事務連絡車（ハイエース）を更新配備した。
	〃	4月 1日	職員定数を改正し90名とした。
	〃	〃	消防長に長田正夫が就任した。
	〃	〃	高機能消防指令センターシステム及び消防救急デジタル無線システムの工事が完了し運用を開始した。
	〃	〃	東山梨消防本部と職員交流を開始した。
	〃	〃	笛吹市長が山梨県高速道路消防救急連絡協議会会長となった。（任期は平成28年度まで）
	〃	12月 1日	笛吹市消防本部消防出張所適正配置調査報告書（消防科学総合センター委託）が完成した。

平成27年	12月 9日	笛吹市消防署に高規格救急車を更新配備した。
平成28年	4月 1日	消防長に植村英明が就任した。
〃	〃	笛吹市消防本部に事務連絡車（ハイゼット）を更新配備した。
〃	4月	昨年度完成した、笛吹市消防本部消防出張所適正配置調査報告書を受け、現状の3出張所から2出張所へ変更し新たに整備する、出張所適正配計画を市内の全自地区（区長会等）を対象に説明会を実施した。
	～	
	5月	
	6月	東部出張所（一宮町新巻地内）及び西部出張所（境川町石橋地内）建設予定地が決定した。
	8月	消防本部自家給油取扱所建工事着手する。
	11月 4日	はしご車オーバーホール完了する。
平成29年	2月	笛吹市消防本部に事務連絡車（プリウスα）を更新配備した。
	3月	出張所建設に伴う実施設計業務が完了する。
	6月15日	消防本部自家給油取扱所が完成する。
	6月24日	出張所建設工事の本契約締結をする。
平成30年	2月 9日	笛吹市消防署に水槽付消防ポンプ自動車(キャブス機能搭載車両 600ℓ)を更新配備した。
	3月26日	笛吹市消防署 東部出張所、西部出張所庁舎の工事が完了し竣工式を行なった。
	3月31日	笛吹市消防署 旧東部出張所、中部出張所、春日居出張所を閉鎖した。
	4月 1日	消防長に福嶋一仁が就任した。 笛吹市消防署 東部出張所、西部出張所の運用を開始した。
	12月19日	笛吹市消防署の勤務体制を検討する、消防本部勤務体制検討委員会を設置し、年度内に3回の検討委員会を開催。2部制試行について市当局と協議し、新年度からの試行を承認された。
	～	
平成31年	3月	
(令和元年)	4月 1日	笛吹市消防署勤務体制を、2部制の試行を開始した。
	4月	消防本部勤務体制検討委員会を、4月から翌年1月まで計14回開催した。新勤務体制決定に係る全職員のアンケート調査結果により、新年度から3部制に復することと決定した。
	～	
令和2年	3月	
	2月14日	笛吹市消防署に救急車を更新配備した。
	2月26日	消防本部庁舎屋上の防水修繕工事を行い完成した。
	4月 1日	消防長に矢崎丈司が就任した。 笛吹市消防署勤務体制を、従前の3部制とした。

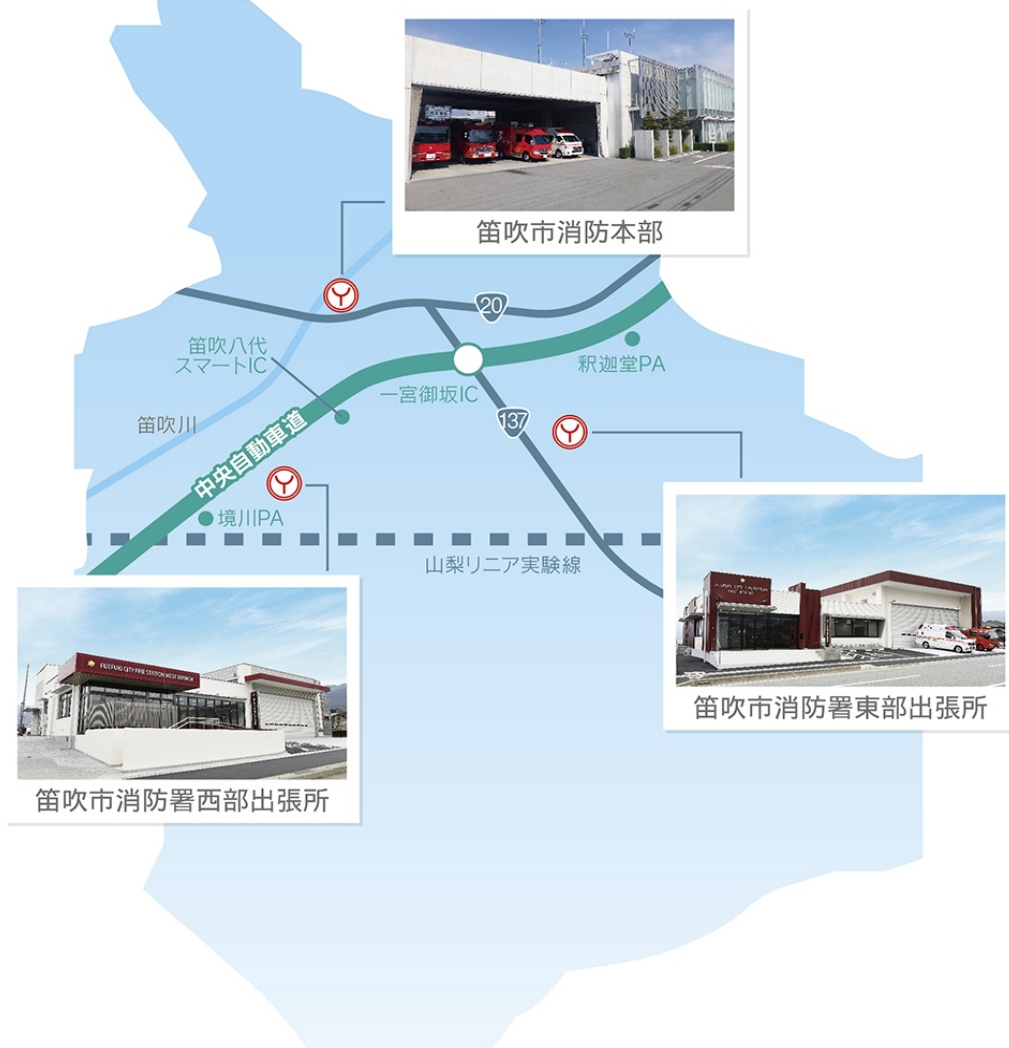
笛吹市の位置、地勢、人口

令和2年4月1日現在



区 分	笛 吹 市
面 積 (km ²)	201.92
標 高 (m)	267
集 落	127
森 林 面 積 (km ²)	118.3
森 林 面 積 率 (%)	58.60
人 口	68,924
世 帯 数	29,625

笛吹市消防本部管内図



消防庁舎の所在地・署所間の距離

笛吹市消防本部 笛吹市消防署	山梨県笛吹市石和町下平井204番地		
東部出張所	〃	一宮町新巻116番地1	署から 4.6km
西部出張所	〃	境川町石橋736番地4	署から 5.1km

施 設

令和2年4月1日現在

区分 機関等	所 在 地	敷 地	庁 舎 及 び 設 備
笛 吹 市 消 防 本 部 笛 吹 市 消 防 署	笛吹市石和町下平井204番地 TEL 055 (261) 0119(代) FAX 055 (262) 8535 (本部) FAX 055 (263) 0988 (署)	9,230.76㎡	<ul style="list-style-type: none"> ・ 庁舎・免震構造 耐火造2階建2,752.54㎡ (1F 署事務所、指令センター、仮眠室、装具室、車庫) (2F 本部事務所、市情報システム課事務所、講堂、会議室) ・ 高圧ガス製造所、耐火造1階建30.51㎡ ・ 自家発電設備80KvA 100v-50KvA ・ 太陽光発電設備4Kw ・ 変電設備 450Kw ・ 防火貯水槽100㎡有蓋 ・ 自噴井戸 (ホース洗浄、貯水槽、水槽車充水用) ・ 倉庫、簡易耐火造1階建128.70㎡ ・ 倉庫、軽量鉄骨造1階建 (2棟) 51.70㎡ ・ 16.00㎡ ・ 救助訓練塔、簡易耐火造352㎡ ・ 訓練場兼駐車場 ・ 照明設備 ・ 自家用給油取扱所
計		9,230.76㎡	・ 延面積 3,367.45㎡
東部出張所	笛吹市一宮町新巻116番地1 TEL 0553 (47) 3119 FAX 0553 (34) 5221	1286㎡	・ 庁舎車庫、鉄筋コンクリート造1階建512㎡
西部出張所	笛吹市境川町石橋736番地4 TEL 055 (266) 7119 FAX 055 (244) 7399	1595㎡	・ 庁舎車庫、鉄筋コンクリート造1階建512㎡



1階 消防署・指令センター

2階 消防本部・講堂

庁舎外観

訓練塔



指令センター

東部出張所



西部出張所

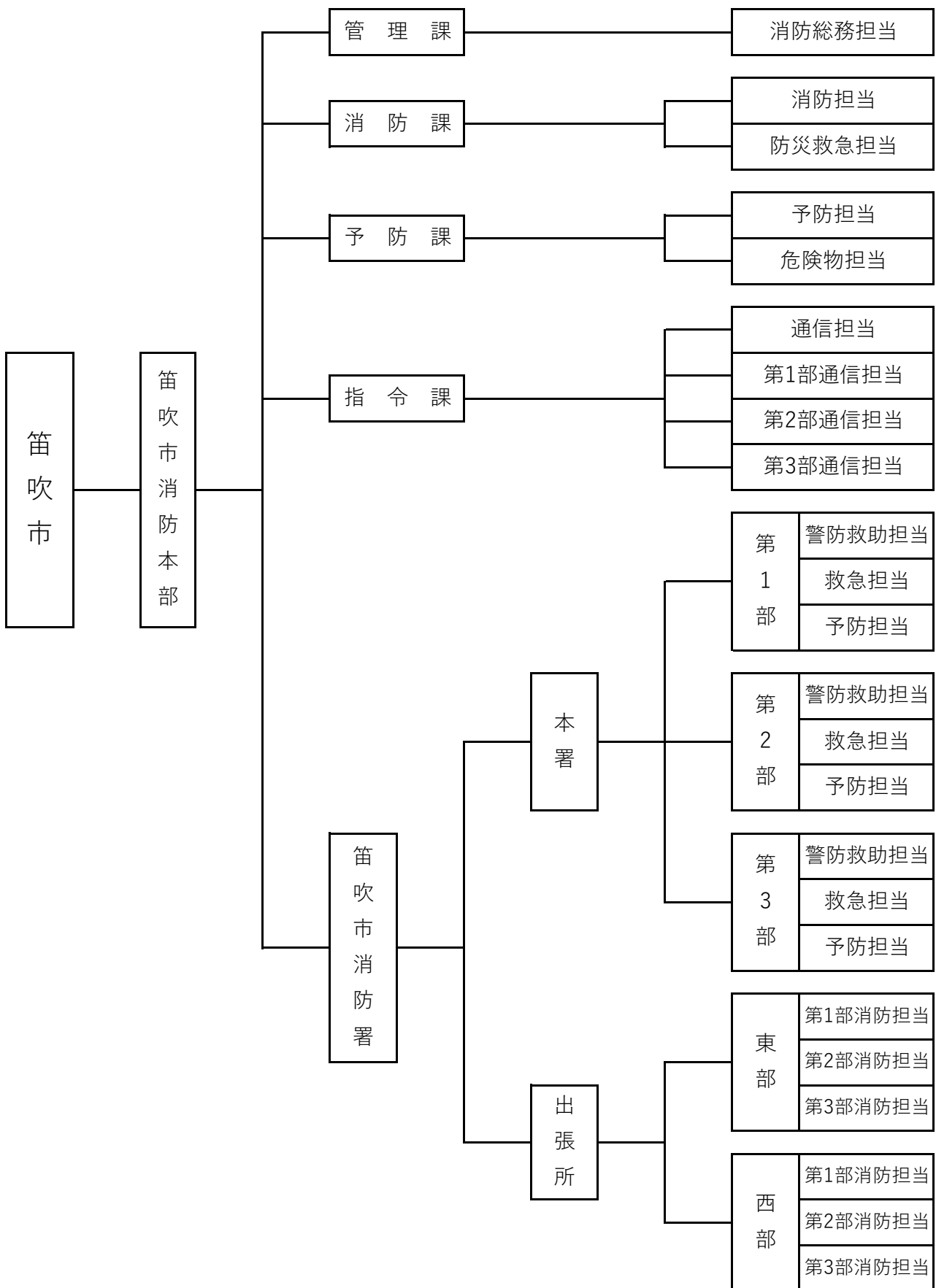


総

務

笛吹市消防本部組織図

令和2年4月1日



消防本部・消防署事務分掌

<p>管 理 課</p>	<p>消防総務担当</p>	<ul style="list-style-type: none"> (1) 本部及び署の業務調整及び企画に関すること。 (2) 組織及び分掌事務の配分に関すること。 (3) 儀式、表彰に関すること。 (4) 公印の保管に関すること。 (5) 文書の收受、発送及び総括指導に関すること。 (6) 職員の任免、分限、懲戒その他人事及び服務に関すること。 (7) 職員の配置に関すること。 (8) 職員の研修、教養及び資格取得に関すること。 (9) 職員の福利厚生及び公務災害補償に関すること。 (10) 消防職員委員会に関すること。 (11) 消防長会等に関すること。 (12) 参与に関すること。 (13) 広報広聴に関すること。 (14) 会計及び経理に関すること。 (15) 財産等総合維持管理に関すること。 (16) 物品の調達及び処分に関すること。 (17) 消防庁舎及び附属施設等の整備に関すること。 (18) 給貸与品の支給に関すること。 (19) 事業計画及び消防財政計画に関すること。 (20) 分掌事務に係る規定等に関すること。 (21) 分掌事務に係る統計及び各種統計に関すること。 (22) その他、課担当に属さない事項に関すること。
<p>消 防</p>	<p>消防担当</p>	<ul style="list-style-type: none"> (1) 火災、救助の対策及び消防計画に関すること。 (2) 消防相互応援協定に関すること。 (3) 消防車両等の整備及び総括管理に関すること。 (4) 消防資機材等の整備及び統括管理に関すること。 (5) 救助業務に関すること。 (6) 防災関係機関等の連絡調整に関すること。 (7) 消防協会及び消防協力会等に関すること。 (8) 分掌事務に係る規定等に関すること。 (9) 分掌事務に係る統計及び消防統計の総括管理に関すること。 (10) その他消防業務に関すること。
<p>課</p>	<p>防災救急担当</p>	<ul style="list-style-type: none"> (1) 救急業務の計画及び調査に関すること。 (2) 救急隊の運用管理に関すること。 (3) 救急救助資機材等の整備及び総括管理に関すること。 (4) 医療関係機関及び防災関係機関等の連絡調整に関すること。 (5) 地震その他の災害等の対策及び消防計画に関すること。 (6) 自主防災組織に関すること。 (7) 分掌事務に係る規定等に関すること。 (8) 幼少年、婦人防火委員会等の火災予防関係団体の育成指導に関すること。 (9) 分掌事務に係る統計及び消防統計の総括管理に関すること。 (10) その他救急防災業務に関すること。

指令課	通信担当	<ul style="list-style-type: none"> (1) 火災・救急・救助その他災害等の情報収集及び指令に関する事。 (2) 火災・救急・救助その他災害等の通報に係る受理及び出場指令 に関する事。 (3) 火災・救急・救助その他災害等の統制に関する事。 (4) 火災・救急・救助その他災害等の統計事務に関する事。 (5) 消防通信施設等の整備及び維持管理に関する事。 (6) 気象観測施設及び気象情報に関する事。 (7) 火災警報の発令に関する事。 (8) 災害弱者消防緊急通信システム事業に関する事。 (9) 山梨県防災航空及びドクターヘリ・カーの要請に関する事。 (10) 電波法令及び電気通信法令に基づく事務に関する事。 (11) 報道対応に関する事。 (12) その他通信業務に関する事。
予防	予防担当	<ul style="list-style-type: none"> (1) 防火対象物に対しての火災予防対策及び地震防災応急計画に関する事。 (2) 火災予防思想の普及及び各種防火運動に関する事。 (3) 建築同意事務に関する事。 (4) 消防用設備等及び電気施設に関する事。 (5) 火災原因調査に関する事。 (6) 防火対象物の査察計画及び査察に関する事。 (7) 防火管理者の育成及び業務指導に関する事。 (8) 防火対象物の表示、公表に関する事。 (9) 住宅防火対策に関する事。 (10) 分掌事務に係る違反処理に関する事。 (11) 分掌事務に係る火災予防条例の届出に関する事。 (12) 分掌事務に係る統計及び予防統計の総括管理に関する事。 (13) 分掌事務に係る証明に関する事。 (14) 分掌事務に係る規定等に関する事。 (15) 関係予防資器材の整備及び管理に関する事。 (16) その他予防業務に関する事。
課	危険物担当	<ul style="list-style-type: none"> (1) 危険物災害の調査に関する事。 (2) 危険物製造所等の認可及び規制に関する事。 (3) 危険物製造所等の査察計画及び査察に関する事。 (4) 危険物取扱者等の安全指導に関する事。 (5) 危険物安全協会等関係団体の育成指導に関する事。 (6) 液化石油ガス、少量危険物、毒物及び劇物等の貯蔵取扱いに関する事。 (7) 分掌事務に係る違反処理に関する事。 (8) 分掌事務に係る火災予防条例の届出に関する事。 (9) 分掌事務に係る統計及び予防統計の総括管理に関する事。 (10) 分掌事務に係る証明に関する事。 (11) 分掌事務に係る規定等に関する事。 (12) 関係予防資器材の整備及び管理に関する事。 (13) その他危険物業務に関する事。

消 防 署	警防救助担当	<ul style="list-style-type: none"> (1) 署及び出張所の業務調整及び企画に関する事。 (2) 広報に関する事。 (3) 表彰申請に関する事。 (4) 署長の公印の保管に関する事。 (5) 署の文書管理に関する事。 (6) 職員の配置及び服務に関する事。 (7) 職員の研修及び教養に関する事。 (8) 警防計画に関する事。 (9) 水火災その他災害等の警戒及び防ぎよ等に関する事。 (10) 警防訓練及び総合演習に関する事。 (11) 地理水利及び警防調査に関する事。 (12) 消防団員の教育訓練に関する事。 (13) 救助業務に関する事。 (14) 救助訓練に関する事。 (15) 救助の安全管理に関する事。 (16) 高圧ガス製造所及び訓練塔に関する事。 (17) 前各号に掲げるもののほか、警防及び救助に関する事。 (18) 本部からの特命事項
	救急担当	<ul style="list-style-type: none"> (1) 救急業務に関する事。 (2) 応急手当の普及に関する事。 (3) 救急統計に関する事。 (4) 医療機関との連絡調整に関する事。 (5) 救急に係る証明に関する事。 (6) 前各号に掲げるもののほか、救急に関する事。 (7) 救急講習等受付事務に関する事。 (8) 救急救命講習会終了証発行事務に関する事。 (9) 本部からの特命事項
	予防担当	<ul style="list-style-type: none"> (1) 火災原因及び損害調査に関する事。 (2) 防火対象物及び危険物製造所等の査察に関する事。 (3) 農業用危険物消費施設の安全指導に関する事。 (4) 住宅防火対策の推進に関する事。 (5) 電気用品の保安に関する事。 (6) 自衛消防隊の教育訓練に関する事。 (7) 自主防災組織及び幼少年婦人防火クラブ等の育成指導に関する事。 (8) 火災予防思想の普及及び各種防火運動に関する事。 (9) 予防資機材の保全に関する事。 (10) 分掌事務に係る統計の本部への報告に関する事。 (11) 分掌事務に係る証明に関する事。 (12) 本部からの特命事項
	出張所 消防担当	<ul style="list-style-type: none"> (1) 業務計画及び運営に関する事。 (2) 文書に関する事。 (3) 庁舎、附属施設及び備品等の管理に関する事。 (4) 水火災その他災害等の警戒及び防ぎよ等に関する事。 (5) 警防計画に関する事。 (6) 地理水利及び警防調査に関する事。 (7) 消防団の訓練指導に関する事。 (8) 救急及び救助業務に関する事。 (9) 応急手当の普及に関する事。

職 員

配置状況

令和2年6月1日現在

部署別		階 級		消 防 司 令 長	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	行 政 職 員	計
		消 防 長	次 長							
消 防 本 部	消 防 長	1								1
	次 長		1							1
	管 理 課		1		1				1	3
	消 防 学 校 初任総合教育							3		3
	消 防 課		2	1						3
	予 防 課		3	2	1					6
	指 令 課		3	2	3					8
	小 計	1	10	5	5	0	3	1	25	
消 防 署	本 署		12	8	11	1	16			48
	東部出張所		4	1	3		1			9
	西部出張所		3	2	1		3			9
	小 計		19	11	15	1	20			66
計		1	29	16	20	1	23	1	91	

年令別表

令和2年6月1日現在

階 級 年 令	司令長	司 令	司令補	士 長	副士長	消防士	計
20未満							0
20～25未満						14	14
25～30未満				4	1	11	16
30～35未満				11			11
35～40未満			7	5			12
40～45未満		5	9				14
45～50未満		12					12
50～55未満		5					5
55以上	1	5					6
人 員 計	1	27	16	20	1	25	90
平均年令	57	47.8	39.7	32.8	28	21.9	35.4

勤続年数

令和2年6月1日現在

階 級 年 数	司令長	司 令	司令補	士 長	副士長	消防士	計
1年未満						3	3
1～5未満						11	11
5～10未満				5	1	9	15
10～15未満			1	11			12
15～20未満			11	4			15
20～25未満		4	4				8
25～30未満		12					12
30～35未満		8					8
35～以上	1	5					6
計	1	29	16	20	1	23	90

予 算

令和2年度笛吹市一般会計歳出予算

(単位:千円)

款	区 分	金 額	予 算 割 合
1	議 会 費	223,125	0.69%
2	総 務 費	3,863,303	12.00%
3	民 生 費	11,609,939	36.06%
4	衛 生 費	1,713,409	5.32%
5	労 働 費	12,175	0.04%
6	農 林 水 産 業 費	1,421,077	4.41%
7	商 工 費	504,633	1.57%
8	土 木 費	4,288,197	13.32%
9	消 防 費	1,193,059	3.71%
10	教 育 費	2,427,585	7.54%
11	災 害 復 旧 費	48	0.00%
12	公 債 費	4,626,345	14.37%
13	諸 支 出 金	281,797	0.88%
14	予 備 費	30,000	0.09%
歳出合計		32,194,692	100.0%

令和2年度消防費予算内訳

(単位:千円)

目	区 分	金 額	消 防 費 予 算 割 合
1	常 備 消 防 費	868,661	72.81%
2	非 常 備 消 防 費	120,791	10.12%
3	消 防 施 設 費	113,965	9.55%
4	水 防 費	8,557	0.72%
5	災 害 対 策 費	81,085	6.80%
合 計		1,193,059	100.0%

警

防



車両配置経過表 計26台

令和2年4月1日現在

区分	名称	車種	年式	経過年数	登録番号	級別
本署	笛吹連絡1	トヨタ ハイエース	27	4	300 み 1625	
	笛吹広報1	マツダ スクラムワゴン	25	6	880 あ 769	
	笛吹広報2	ダイハツ ハイゼット	25	6	880 あ 696	
	笛吹多目1	トヨタ サクシード	15	16	800 さ 5170	
	笛吹多目2	トヨタ サクシード	16	15	800 さ 5995	
	笛吹多目3	日産 エクストレイル	26	5	800 す 1393	
	事務連絡車	ダイハツ ハイゼット	27	4	480 け 1458	
	事務連絡車	トヨタ プリウスa	29	2	300 む 8131	
	笛吹指揮	トヨタ ハイエース	26	5	800 す 1192	
	笛吹ポンプ1	日野 デュトロ	17	14	800 さ 6803	A-2
	笛吹ポンプ2	日野 デュトロ	30	1	830 さ 2018	A-2
	笛吹ポンプ5	いすゞ エルフ	13	18	800 さ 3362	A-2
	笛吹水槽	三菱 ふそうファイター	8	23	88 さ 2790	
	笛吹救急1	トヨタ ハイメディック	27	4	830 た 2015	高規格
	笛吹救急2	日産 パラメディック	R2	0	830 た 2020	高規格
	笛吹救急5	トヨタ ハイメディック	18	13	800 さ 7801	高規格
	笛吹救助	日野 レンジャープロ	15	16	800 は 256	II型
	笛吹梯子	日産 ディーゼル	20	11	800 は 462	35m級
	笛吹照明	スズキ キャリー	22	9	880 あ 477	
	笛吹積載	トヨタ ダイナ	9	22	88 そ 2357	
多目的軽トラック	スバル サンバー	5	26	480 こ 7587		
原動機付自転車	ホンダ カブ	6	25	A 119		
東部	笛吹ポンプ3	日野 デュトロ	20	11	800 さ 8995	A-2
	笛吹救急3	日産 パラメディック	22	9	800 さ 9704	高規格
西部	笛吹ポンプ4	いすゞ エルフ	14	17	830 ひ 119	A-2
	笛吹救急4	日産 パラメディック	21	10	800 さ 9353	高規格

消防相互応援協定等

令和2年4月1日現在

協定書等名	締結年月日	出場区域	内 容
中央自動車道相互応援協定書	昭和58年11月1日	県内の中央道	中央道の路上における消防又は救急業務を必要とする事故に対し、先着消防隊の長が必要と認めるときは、他の関係市町村へ応援を求め、同要請は、関係市町村長が行なったものとみなす。
山梨県常備消防相互応援協定書	昭和61年6月1日	県下10消防本部管轄区	大規模な火災、事故その他の災害が発生した組合等の長が、必要と認められた場合、必要消防隊を要請する。
東八消防本部・東山梨消防本部相互応援協定書	昭和63年11月14日	東八・東山梨消防本部管轄区	大規模な火災、事故その他の災害が発生した場合、応援消防本部の状況判断により消防隊等を出場させる。
山梨県防災ヘリコプター応援協定書	平成7年3月20日	締結市町村等	消防組織法第1条の災害が発生し、隣接市町村等に拡大し、又は影響のおそれのある場合、要請市町村等の消防力によっては防ぎよが著しく困難な場合、その他救急救助活動等において航空機による活動が最も有効な場合などで、市町村等の長が必要と判断するとき知事に対して要請する。
西関東連絡道路消防相互応援協定書	平成18年12月20日	笛吹・甲府・東山梨消防本部管轄区	大規模な火災、事故その他の災害が発生した場合、応援消防本部の状況判断により消防隊等を出場させる。
鉄道災害時における消防機関と鉄道事業者との連携に関する協定書	平成19年10月25日	鉄道事業者が管理する軌道敷地内及び駅構内	甲府・都留・富士五湖・大月・峡北・笛吹・東山梨・上野原消防本部と東日本旅客鉄道東京支社・八王子支社・長野支社及び富士急行株式会社は、鉄道事業者が管理する軌道敷地内及び駅構内において消防機関の出動する災害が発生した場合相互協力体制を定める。
事件事故等の発生時における通報要領に関する協定書	平成20年12月24日		山梨県警察本部と笛吹市消防本部が、事件・事故等の発生に伴い相互に通報を行う際の通報窓口を明確にするとともに、通報元機関における対応予定や通報先機関に対する要請事項等を明確に告知することで、各種事案対応の万全を期すること。
富士五湖消防本部・笛吹市消防本部消防相互応援協定書	平成22年5月12日	富士五湖・笛吹市消防本部管轄区	大規模な火災、事故その他の災害が発生した場合、応援消防本部の状況判断により消防隊等を出場させる。
医師派遣用自動車運用に関する協定書	平成22年8月9日	山梨県立中央病院 県内10消防本部	救命救急センターの医師と実習中の救急救命士が派遣用自動車に同乗し救命救急処置等の必要な患者が発生した現場等に出場して、医療行為を行うことにより、救命率の向上を図る。
山梨県ドクターヘリ運用に関する協定書	平成24年4月1日	山梨県立中央病院 県内10消防本部	山梨県立中央病院が実施するドクターヘリ事案を消防本部の協力のもと安全、円滑かつ効率的に実施するために必要な事項について定める。
火災時における消防用水の確保に関する協定書	平成29年12月6日	山梨生コンクリート 協同組合及び峡南生 コンクリート協同組合 県内6消防本部	消防機関の行政区域において火災が発生し、又は発生するおそれがある場合において、消防機関が協同組合に対して行う消防用水の供給の協力要請について、適切かつ円滑な運営を期するため、必要な事項を定める。

消防水利現況

令和2年4月1日現在

水利種別		設置数
消火栓		796
防火水槽	100 m ³ 以上	17
	40 m ³ ~ 100 m ³ 未満	499 (49)
	20 m ³ ~ 40 m ³ 未満	169
	小計	685 (49)
その他の水利	河川	35
	プール	19
	濠池	16
	その他	
	小計	70
合計		1551 (49)

※ 消火栓、防火水槽は、公設・100m³以上の防火水槽、耐震性・40m³～100m³未満の防火水槽欄の（ ）内は、60m³耐震性防火水槽数・消火栓は、消防水利の基準にもとづく数とする。

管内トンネル状況

令和2年4月1日現在

名称	管理者	路線	長さ	幅員	交通量 (1日あたり)	事故通報手段	署所からの 距離	防火設備	危険箇所	要設置消防施設等
御坂隧道	峡東建設事務所 道路第2課 道路維持担当	県道 河口湖 御坂線	394m 当管内 147m	5.5m	150～ 300台	御坂町藤野木 まで6km 降りて電話通報	東部出張所から 17km 署から21km	なし	なし	・両出入口に電話 及び40m ³ 以上の 水槽設置
新鳥坂 トンネル	〃	県道 上芦川 甲府線	479m	8m	600～ 1,000台	上芦川まで 1.4km大口まで 3.1km 降りて電話通報	西部出張所から 11km 署から13km	なし	なし	
新御坂 トンネル	〃	国道 137号線	2,778m 当管内 1,389m	6.5m	平日 6,000～ 13,000台 日曜休日 15,000台	管理事務所から 通報・昼間3 名、夜は1名勤 務通報のみ行う	東部出張所から 12km 署から16km	・非常電話270m 交互に10ヶ所 ・火災報知器15m 交互に185ヶ所 ・消火栓50m 交互に55ヶ所 ・手動通報器 100m交互に27ヶ所 ・粉末消火器(8kg) 片側100mごとに7ヶ所 ・排煙設備あり	なし	・両出入口に100m ³ 以上の水槽設置 ・排煙設備等の 非常電源設置
大蔵経寺山 トンネル	〃	新山梨環状道 路国道140号線	1,857.5m 当管内 約1,057.5m	8.75m	平日 7,950台 休日 6,280台	非常電話上下線 21ヶ所 非常電源ボックス 上下線4ヶ所 押釦通報監視御 室からの通報	署から4km	・消火器38ヶ所 ・消火栓38ヶ所 ・押釦通報19ヶ所 ・トンネル内警報板 2ヶ所 ・CCTVカメラ設備2ヶ所 ・排煙設備(ジェットファン) 2ヶ所 ・誘導表示板9ヶ所 ・トンネル内警報表示盤 2ヶ所 ・非常口表示灯2ヶ所	なし	・春日居側に 100m ³ 水槽 ・非常電源設備 ・春日居側に避難坑
若彦 トンネル	〃	県道 富士河口湖 芦川線	2,615m 当管内 1,162m	7m	平日 1,500台 休日 3,000台	芦川町上芦川 (オートキャン プすずらん)ま で0.5Km 芦川町中芦川 (芦川駐在所) まで2.8km	西部出張所から 15km 署から17km	・消火器52ヶ所 ・補助警報表示板2ヶ所 ・非常電話26ヶ所 ・押しボタン式通報装置 52ヶ所 ・誘導表示板25ヶ所 ・非常駐車帯/表示灯 3ヶ所	なし	
黒沢隧道	笛吹市・甲府市 (市の管理)	広域農道 金川・曾根 線	480m 笛吹市220m 甲府市260m	7m	50～ 100台	甲府市中畑まで 1kmに公衆電話 あり	西部出張所から 4km 署から6km	なし	なし	
笛吹市消防本部車両・災害対応機器材等 ・消防ポンプ車……1台・水槽付ポンプ車台……4台・照明車……1台・救助工作車……1台・多目的積載車……1台 ・大型水槽車……1台(水4,000ℓ)・化学車……1台(水1,000ℓ、化学液600ℓ)・高規格車救急車……5台										

各種訓練参加・実施・指導等状況

令和元年中

区分	消 防 団							合 計	消防本部・消防署			合 計
	消防団員操法大会				その他指導				他機関合同訓練	管内施設使用訓練	訓 県・ブロック・全国 練	
	ポンプ車操法	小型ポンプ操法	軽可搬ポンプ操法	小 計	各種活動訓練	教 養 訓 練	小 計					
回 数				0	7	6	13	13	2			2
団 員				0	451	238	689	689				
消 防 職 員				0	54	27	81	81	6			6

火災・その他災害



市内の住宅で発生した火災の様子

令和元年中

火災件数
焼損棟数
損害額
死者
負傷者

36件
18棟
42,430千円
2人
5人

火災概況

令和元年中

区分	種別	建物	林野	車両	その他	計	焼 損 程 度 (棟数)				死 者	負 傷 者	り 災 世 帯 員	り 災 人 員	出動隊		出動人員	
							全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や					消 防 署	消 防 団	消 防 署	消 防 団
件 数		14	2	6	14	36												
損 害 額 (千円) (建物 収容物含)		31,152	0	3,558	7,720	42,430												
焼 損 面 積・台 数	(床)362㎡ (表)2㎡	108a	6台				5	0	7	6	2	5	6	8	148	207	454	1,256

過去5年間における管内火災発生状況の推移

種 別		年 別				
		平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
件 数		30	39	34	29	36
面 積 等	建物 (㎡) ※1	565(31)	1,279(100)	866(7)	1355(3)	362(2)
	林野 (a)	15	0	0	0	108
	車両 (台)	6	6	4	9	7
死 者		1	2	0	1	2
損 害 額 (千円)		23,421	118,439	86,570	213,807	42,430

※1 () 内は表面積

町別火災発生状況（発生件数）

令和元年中

区分 町別		火災件数						焼損棟数				り災世帯数			り 災 人 員	死 者	負 傷 者	
		合 計	建 物	林 野	車 両	船 舶	航 空 機 他	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や	全 損	半 損	小 損				
笛 吹 市	石和町	12	7	0	0	0	0	5	0	0	5	2	0	0	3	5	0	3
	御坂町	4	2	0	0	0	0	2	1	0	0	3	1	0	0	1	0	0
	一宮町	7	2	0	4	0	0	1	0	0	1	1	0	0	1	1	0	1
	八代町	5	2	0	1	0	0	2	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0
	境川町	5	1	2	0	0	0	2	1	0	0	0	1	0	0	1	1	0
	春日居町	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	芦川町	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
合 計	36	14	2	6	0	0	14	5	0	7	6	2	0	4	8	2	5	

町別火災発生状況（損害額）

令和元年中

区分		焼 損 面 積 等							損 害 額 (千円)							
		床面積 (㎡)	表面積 (㎡)	林野 (a)	車両 (台)	船舶	航空機	総額	建物	収容物	林野	車両	船舶	航空機	その他	爆発
笛 吹 市	石和町	74	0	0	0	0	0	4,194	3,780	161	0	132	0	0	121	0
	御坂町	33	2	0	0	0	0	614	614	0	0	0	0	0	0	0
	一宮町	2	0	0	4	0	0	10,370	212	43	0	2,575	0	0	7,540	0
	八代町	39	0	0	2	0	0	1,110	770	110	0	230	0	0	0	0
	境川町	214	0	108	0	0	0	25,462	25,428	34	0	0	0	0	0	0
	春日居町	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0	0	0	8	0
	芦川町	0	0	0	1	0	0	672	0	0	0	621	0	0	51	0
合 計		362	2	108.00	7	0	0	42,430	30,804	348	0	3,558	0	0	7,720	0

月別・曜日別火災発生状況

令和元年中

件数等 月・曜日別	火災件数							焼損棟数				り災世帯数			死 者	負 傷 者	焼損面積等						損 害 額 (千円)								
	合 計	建 物	林 野	車 両	船 舶	航 空 機	そ の 他	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や	全 損	半 損	小 損			災 人 員	床 面 積 ㎡	表 面 積 ㎡	林 野 a	車 両 台	船 舶	航 空 機	総 額	建 物	収 容 物	林 野	車 両	船 舶	航 空 機	そ の 他
1月	2		1				1										11					2								2	
2月	5	3		1			1		1	2			1	1	1	10			1			10,026	67	27		2,432			7,500		
3月	5	1								1												52		1					51		
4月	7	3	1							3				2	4	14		97				1,800	1,582	160					58		
5月	3	1		1			1			1						2			1			298	197	16		85					
6月	0																														
7月	1																														
8月	2			1			1												1			140				140					
9月	4	2		2					1	1			1	1	1	7			3			545	117	108		280			40		
10月	2	1		1			1				2	1		1	1	33	2		1			1,271	599			621			51		
11月	2	2					4							1	1	246						26,117	26,081	36							
12月	3	1							1							50						2,179	2,161						18		
合計	36	14	2	6	0	0	14	5	0	7	6	2	0	4	8	362	2	108	7	0	0	42,430	30,804	348	0	3,558	0	0	7,720	0	
日曜日	7	4					3			3	1			2	4	22						1,986	1,631	203		132			20		
月曜日	2	1					1			1						7			1			317	117	108		90			2		
火曜日	3	2					1	3		1						34						793	791	2							
水曜日	5	3					2	1		1	1	1	1	2	1	264						27,635	27,589	34					12		
木曜日	4	1		2			1	1			2	1		1	1	33	2		2			867	599			190			78		
金曜日	7	1		2			4				1								2			823	15			706			102		
土曜日	8	2	2	2			2				1	1		1	1	2		108	2			10,009	62	1		2,440			7,506		
不明																						0									
合計	36	14	2	6	0	0	14	5	0	7	6	2	0	4	8	362	2	108	7	0	0	42,430	30,804	348	0	3,558	0	0	7,720	0	

出火時間別火災発生状況

令和元年中

件数等 時間	火災件数							焼損棟数				り災世帯数			り 災 人 員	死 者	負 傷 者	焼損面積等						損害額(千円)										
	合 計	建 物	林 野	車 両	船 舶	航 空 機 他	そ の 他	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や	全 損	半 損	小 損				床 面 積 ㎡	表 面 積 ㎡	林 野 a	車 両 台	船 舶	航 空 機	総 額	建 物	収 容 物	林 野	車 両	船 舶	航 空 機	そ の 他	爆 発		
0～1	0																				0													
1～2	1	1							1				1	3		2	10					1,542	1,382	160										
2～3	2	2					1		1		1		1	1		264					27,635	27,589	34					12						
3～4	1	1							1				1	1		2					62	62												
4～5	0																				0													
5～6	0																				0													
6～7	0																				0													
7～8	0																				0													
8～9	0																				0													
9～10	1		1														97				0													
10～11	2	1				1				1											1		1											
11～12	3			1		2												1			201				110			91						
12～13	1			1										1				1			672				621			51						
13～14	7	1		1		5				1			1	1				1			142				140			2						
14～15	4	2		1		1	3		1							39		2			1,093	770	110		175			38						
15～16	2	1				1				1											35	15						20						
16～17	2					2															0													
17～18	2	1				1				1						2					138	138												
18～19	0																				0													
19～20	3	1	1			1				1					1	10		11			175	37			132			6						
20～21	2	1		1						1			1	1				1			122	15	27		80									
21～22	2	1		1			1			2	1		1			33	2		1		10,399	599			2300		7,500							
22～23	1	1								1						2					213	197	16											
23～24	0																				0													
不明	0																				0													
合計	36	14	2	6	0	0	14	5	0	7	6	2	0	4	8	2	5			362	2	108	7	0	0	42,430	30,804	348	0	3,558	0	0	7,720	0

原因別火災発生状況

令和元年中

原因別	件数等							焼損棟数				り災世帯数			り 災 人 員	死 者	負 傷 者	焼 損 面 積 等						損 害 額 (千円)																				
	合	建	林	車	船	航	そ	全	半	部	ぼ	全	半	小				焼	損	面	積	等	総	建	収	林	車	船	航	そ	爆													
	計	物	野	両	船	機	の 他	焼	焼	焼	や	損	損	損				面積 ㎡	面積 ㎡	野 a	車 両 台	船 機	額	物	物	野	両	船	機	の 他	発													
たばこ	3	2					1		2				1	3		2	17			1								1,908	1,499	268		90			51									
調理器具	2	2							2				1	1		4												275	259	16														
かまど	0																											0																
風呂かまど	0																											0																
炉	0																											0																
焼却炉	0																											0																
ストーブ	0																											0																
こたつ	0																											0																
ボイラー	0																											0																
煙突・煙道	0																											0																
排気管	1			1															1								80				80													
電気機器	2	2											2		1	1											57	30	27															
電気装置	0																										0																	
電灯・電話等の配線	1	1											1														1		1															
内燃機関	0																										0																	
配線器具	0																										0																	
火あそび	0																										0																	
マッチ・ライター	2		1				1												97								0																	
たき火	2						2																				2																	
溶接機・切断機	0																										0																	
灯火	0																										0																	
衝突の火花	0																										0																	
取灰	0																										0																	
火入れ	2	2						4			2	1		1		65	2										1,254	1,252	2															
放火	3	3								2	1			1	1	52											2,311	2,299																
放火の疑い	0																										0																	
その他	10	1		1			8			1					10				1								10,007	37				2,432									7,538			
不明・調査中	8	1	1	4			2	1				1		1	2	1	214		11	4							26,535	25,428	34			956									117			
合計	36	14	2	6	0	0	14	5	0	7	6	2	0	4	8	2	362	2	108	7	0	0					42,430	30,804	348	0	3,558	0	0						7,720	0				

その他災害等状況

令和元年中

種 別 \ 月 別	計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
危険排除	88	17	7	9	4	5	4	5	11	8	5	7	6
怪煙偵察	28	5	3	1	1	3	0	0	2	3	5	0	5
救急応援	315	36	26	35	28	32	19	18	15	24	21	31	30
その他	96	3	2	12	10	9	5	8	15	8	9	8	7
計	527	61	38	57	43	49	28	31	43	43	40	46	48

火災・その他災害等覚知別出動状況

令和元年中

災害別 \ 覚知別	119 (IP含む)	携 帯 119	加入 電話	駆け 付け	事後 聞知	消防 無線	公団	その他	計
火 災	2	20	9	0	4	0	0	1	36
その他災害等	153	258	65	0	0	32	0	19	527

救

助



令和元年中救助出動件数

40件

令和元年中救助者数

23人

救助出動件数

令和元年中

事故種別 出動区域		火災	交通	水難	自然災害	機械事故	建物事故	ガス酸欠	爆発	その他	合計
		管吹市	出動件数	1	15	3	0	3	0	0	0
救助者数	0		11	2	0	1	0	0	0	9	23
管吹市外	出動件数	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2
	救助者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	出動件数	1	17	3	0	3	0	0	0	18	42
	救助者数	0	11	2	0	1	0	0	0	9	23

*上記のうち中央自動車道に出動した件数

事故種別 出動区域		火災	交通	水難	自然災害	機械事故	建物事故	ガス酸欠	爆発	その他	合計
		中央道	出動件数	0	1	0	0	0	0	0	0
救助者数	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0

覚知別出動件数

事故種別 区分	119	IP119	携帯119	加入電話	かけつけ	自己覚知	その他	合計
救助出動件数	1	7	25	6	0	0	1	40

救

急



令和元年中

救急出場件数

3,675件

救急搬送人員数

3,494人

1日平均救急出場件数

10.1件

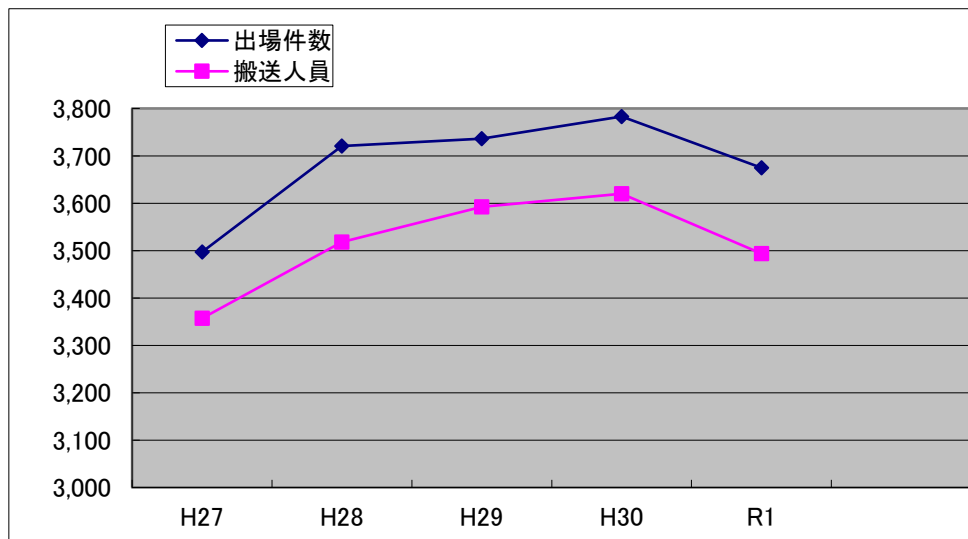
救急概況

令和元年中

区分	出場件数	搬送件数	搬送人員	管内搬送人員	管外搬送人員	救急出場延台数	出場延職員数
笛吹市 (中央道を除く)	3,669	3,444	3,488	1,870	1,618	3,669	11,157
中央自動車道	6	6	6	5	1	6	18
合計	3,675	3,450	3,494	1,875	1,619	3,675	11,175

過去5年間の救急出場の推移

町別		年	H27	H28	H29	H30	R1	
笛吹市	石和町	出場件数	1,791	1,875	1,860	1,880	1,895	
		搬送人員	1,709	1,749	1,772	1,804	1,794	
	御坂町	出場件数	532	556	562	608	526	
		搬送人員	516	539	552	579	501	
	一宮町	出場件数	408	430	456	438	409	
		搬送人員	394	415	448	425	398	
	八代町	出場件数	271	304	301	293	311	
		搬送人員	270	284	282	286	296	
	境川町	出場件数	168	185	188	186	177	
		搬送人員	162	182	189	174	173	
	春日居町	出場件数	294	330	321	343	319	
		搬送人員	274	311	306	322	303	
	芦川町	出場件数	25	34	33	30	32	
		搬送人員	25	32	32	26	24	
	その他の地域		出場件数	8	7	15	5	6
			搬送人員	7	6	11	4	5
合計		出場件数	3,497	3,721	3,736	3,783	3,675	
		搬送人員	3,357	3,518	3,592	3,620	3,494	



町別・種別出場件数

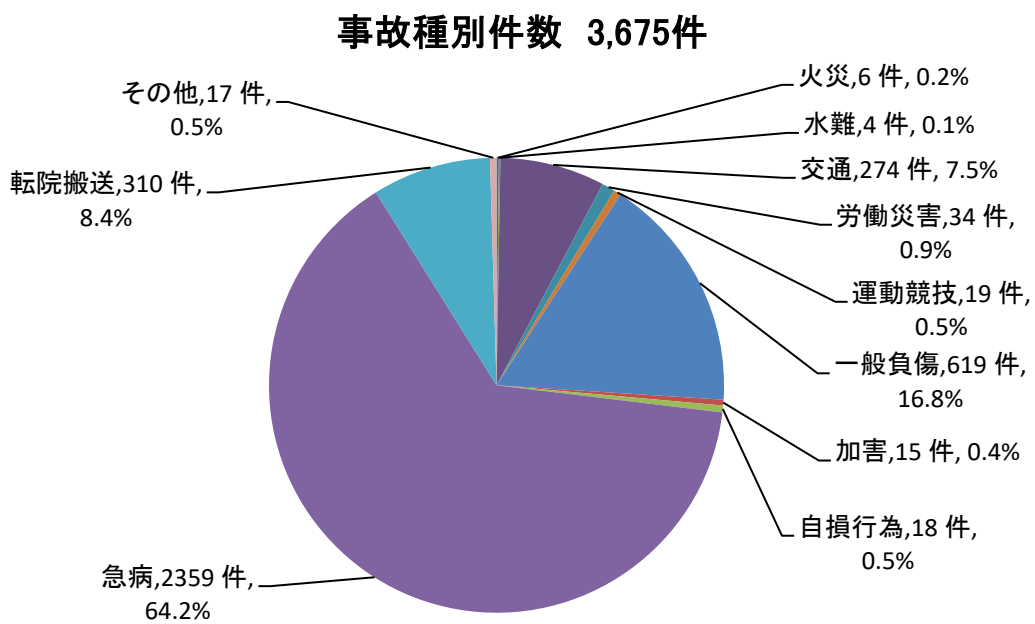
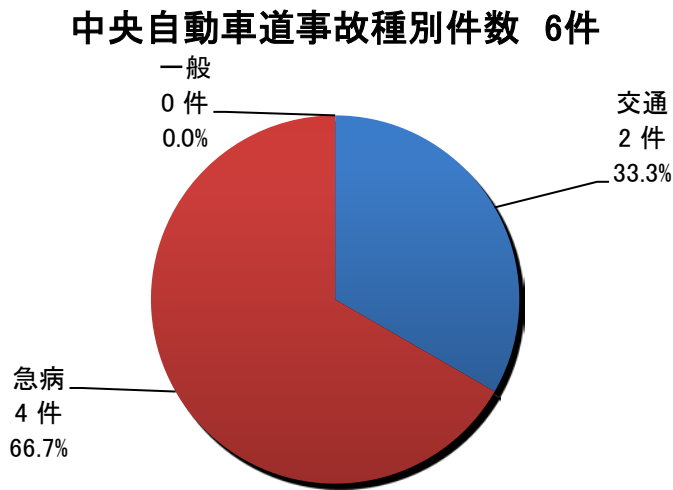
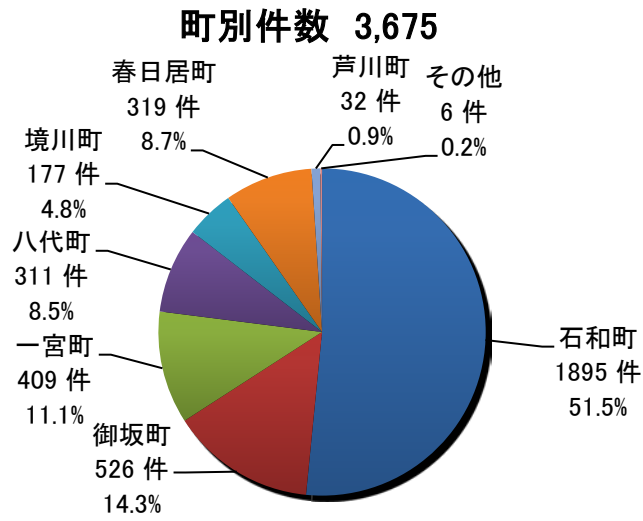
令和元年中

町別	事故種別救急出場件数														事故種別搬送人員数														
	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				合計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他		合計	
											転院搬送	医師搬送	器材搬送	その他												転院搬送	その他		
																													転院搬送
笛吹市	石和町	1	0	3	141	15	7	293	10	6	1,191	223	0	0	5	1,895	2	0	1	151	15	7	276	10	1	1,109	222	0	1,794
	御坂町	1	0	1	51	5	2	88	2	4	345	21	0	0	6	526	0	0	0	54	4	2	86	2	3	329	21	0	501
	一宮町	1	0	0	33	6	2	63	1	2	271	27	0	0	3	409	1	0	0	36	6	2	66	1	1	257	27	1	398
	八代町	1	0	0	19	3	0	68	1	2	211	4	0	0	2	311	1	0	0	21	3	0	60	2	0	205	4	0	296
	境川町	0	0	0	11	4	8	40	1	0	100	12	0	0	1	177	0	0	0	10	4	9	41	1	0	96	12	0	173
	春日居町	1	0	0	13	1	0	59	0	2	220	23	0	0	0	319	1	0	0	15	1	0	56	0	1	207	22	0	303
	芦川町	1	0	0	3	0	0	8	0	2	18	0	0	0	0	32	0	0	0	4	0	0	7	0	0	13	0	0	24
その他	0	0	0	3	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	6	0	0	0	2	0	0	0	0	0	3	0	0	5	
合計	6	0	4	274	34	19	619	15	18	2,359	310	0	0	17	3,675	5	0	1	293	33	20	592	16	6	2,219	308	1	3,494	
中央道	0	0	0	2	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	6	0	0	0	2	0	0	0	0	0	4	0	0	6	

※合計は中央道も含む

町別・種別出場件数 (グラフ)

令和元年中



月別出場状況

令和元年中

月別		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
事故種別	出場件数	391	286	298	272	315	258	305	329	321	278	315	307	3,675
	搬送件数	368	266	274	253	298	243	289	312	299	265	300	283	3,450
	不搬送件数	23	20	24	19	17	15	16	17	22	13	15	24	225
	搬送人員	371	269	276	257	302	246	294	316	303	269	300	291	3,494
火災	出場件数	1	1	0	1	0	0	0	0	1	2	0	0	6
	搬送人員	1	1	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	5
自然災害	出場件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	搬送人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
水難	出場件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	4
	搬送人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
交通	出場件数	23	17	33	12	23	21	22	33	22	24	18	26	274
	搬送人員	22	17	33	14	24	22	26	34	25	28	18	30	293
労働災害	出場件数	1	4	0	2	6	3	2	5	4	1	4	2	34
	搬送人員	1	4	0	2	6	3	2	5	3	1	4	2	33
運動競技	出場件数	0	1	1	2	2	1	1	6	1	3	1	0	19
	搬送人員	0	1	1	2	2	1	2	6	1	3	1	0	20
一般負傷	出場件数	64	42	45	46	58	41	60	48	56	41	62	56	619
	搬送人員	62	41	43	42	55	41	56	47	53	40	60	52	592
加害	出場件数	4	2	0	1	0	4	0	2	2	0	0	0	15
	搬送人員	4	3	0	1	0	4	0	2	2	0	0	0	16
自損行為	出場件数	1	0	2	1	2	2	0	2	4	0	3	1	18
	搬送人員	1	0	0	1	0	1	0	1	1	0	1	0	6
急病	出場件数	260	190	191	173	199	154	200	210	209	176	199	198	2,359
	搬送人員	243	174	176	163	190	144	190	199	196	169	191	184	2,219
その他	出場件数	37	29	26	34	25	32	20	23	22	29	26	24	327
	搬送人員	37	28	23	30	25	30	18	22	21	28	24	23	309

種別・曜日別救急出場件数

令和元年中

区分		事故種別	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計
曜日別	月		1	0	1	34	5	3	78	3	3	364	48	540
	火		0	0	0	35	6	0	88	1	2	339	49	520
	水		0	0	0	34	6	0	70	4	0	291	34	439
	木		2	0	0	42	4	1	85	2	2	330	40	508
	金		1	0	1	48	5	2	82	1	2	312	67	521
	土		0	0	2	38	6	4	104	0	2	362	46	564
	日		2	0	0	43	2	9	112	4	7	361	43	583
計			6	0	4	274	34	19	619	15	18	2,359	327	3,675

種別・時間別救急出場件数

令和元年中

事故種別 区分		火災	自然 災害	水難	交通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自損 行為	急 病	その他	計
時 間 別	0～2	1	0	0	7	0	0	17	3	1	127	10	166
	2～4	0	0	0	3	0	0	8	2	1	87	11	112
	4～6	0	0	0	7	0	0	12	0	1	101	7	128
	6～8	0	0	1	29	2	0	41	0	2	192	4	271
	8～10	0	0	0	39	8	4	80	0	3	306	36	476
	10～12	1	0	1	27	10	4	85	0	3	271	64	466
	12～14	1	0	2	28	2	3	66	1	3	220	46	372
	14～16	1	0	0	26	8	6	67	2	2	243	37	392
	16～18	0	0	0	53	4	2	74	2	2	219	47	403
	18～20	1	0	0	28	0	0	70	0	0	241	29	369
	20～22	0	0	0	17	0	0	57	2	0	205	23	304
	22～24	1	0	0	10	0	0	42	3	0	147	13	216
計		6	0	4	274	34	19	619	15	18	2,359	327	3,675

急病分類傷病程度別搬送人員(出動件数2,359件中、搬送人員2,219人)

令和元年中

項目 程度	循 環 系		消化系	呼吸系	精神系	感覚系	泌尿系	その他	診不明 名確	新生物	計
	脳	心									
死亡	0	5	0	1	0	0	0	0	19	1	26
重症	56	42	15	31	0	0	1	4	66	8	223
中症	98	74	95	121	6	5	18	15	557	9	998
軽症	28	29	68	33	6	7	34	19	746	2	972
計	182	150	178	186	12	12	53	38	1,388	20	2,219

年齢区分別搬送人員

令和元年中

傷病 程度	事故 種別	火災	自然 災害	水難	交通	労災	運動	一般	加害	自損	急病	その他	計
		新 生 児	死 亡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
重 症	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中等症	0		0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2
軽 症	0		0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	3
その他	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0		0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	5
乳 幼 児	死 亡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	重 症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	中等症	0	0	0	2	0	0	10	0	0	54	5	71
	軽 症	0	0	0	10	0	0	34	0	0	65	1	110
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	12	0	0	44	0	0	119	6	181
少 年	死 亡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	重 症	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	1	4
	中等症	0	0	0	7	0	6	9	0	0	29	4	55
	軽 症	1	0	0	25	0	10	15	1	0	34	2	88
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	1	0	0	33	0	16	25	1	0	64	7	147
成 人	死 亡	0	0	0	1	0	0	1	0	1	5	0	8
	重 症	1	0	0	8	5	0	8	0	0	41	13	76
	中等症	0	0	0	35	8	3	30	3	2	222	51	354
	軽 症	1	0	0	127	15	1	63	9	1	343	10	570
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	2	0	0	171	28	4	102	12	4	611	74	1,008
老 人	死 亡	0	0	0	0	0	0	6	0	0	21	0	27
	重 症	1	0	1	5	1	0	62	0	1	181	66	318
	中等症	0	0	0	15	1	0	174	0	0	691	138	1,019
	軽 症	1	0	0	57	3	0	179	3	1	527	18	789
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	2	0	1	77	5	0	421	3	2	1,420	222	2,153
計	死 亡	0	0	0	1	0	0	7	0	1	26	0	35
	重 症	2	0	1	14	6	0	71	0	1	223	80	398
	中等症	0	0	0	59	9	9	223	3	2	998	198	1,501
	軽 症	3	0	0	219	18	11	291	13	2	972	31	1,560
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	5	0	1	293	33	20	592	16	6	2,219	309	3,494

救急事故発生場所・傷病者住所管内外別搬送人員

令和元年中

発生場所 月別	救急事故発生場所別搬送人員						傷病者住所 管内外別搬送人員		
	住 宅	公衆 の 出 入 場 所	仕 事 場	道 路	そ の 他	計	管 内	管 外	そ の 他
1	208	119	10	31	3	371	284	53	34
2	140	102	7	18	2	269	205	41	23
3	144	85	3	39	5	276	225	31	20
4	127	101	6	18	5	257	199	39	19
5	158	104	9	31	0	302	224	45	33
6	113	94	8	30	1	246	192	38	16
7	150	100	10	33	1	294	228	39	27
8	156	95	14	44	7	316	231	54	31
9	162	101	8	28	4	303	232	42	29
10	145	80	5	36	3	269	210	36	23
11	158	97	8	29	8	300	236	33	31
12	158	87	6	37	3	291	227	44	20
計	1,819	1,165	94	374	42	3,494	2,693	495	306
%	52.1%	33.3%	2.7%	10.7%	1.2%	100.0%	77.1%	14.2%	8.7%

予

防



令和2年度全国統一防火標語

防火対象物件数

令和2年3月31日現在

防 火 対 象 物			件数
1	イ	劇場・映画館	0
	ロ	公会堂・集会場	99
2	イ	キャバレー・ナイトクラブ	0
	ロ	遊技場・ダンスホール	9
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等	0
	ニ	カラオケボックス・個室形態営業店舗等	2
3	イ	待合・料理店	0
	ロ	飲食店	58
4		百貨店・物品販売	136
5	イ	旅館・ホテル	140
	ロ	寄宿舎・共同住宅	557
6	イ	(1) 次のいずれにも該当し、特に防火安全対策が必要とされる病院 ・診療科目名に特定診療科目を有する ・療養病床または一般病床を有する	9
		(2) 次のいずれにも該当し、特に防火安全対策が必要とされる有床診療所 ・診療科目名に特定診療科目を有する ・4人以上の患者を入院させるための施設を有する	0
		(3) (1) 及び(2) 以外の病院、有床診療所、有床助産所	5
		(4) 無床診療所及び無床助産院	26
	ロ	(1) 老人短期入居施設・養護老人ホーム等	37
		(2) 救護施設	0
		(3) 乳児院	0
		(4) 障害児入所施設	0
		(5) 障害者支援施設等	2
	ハ	(1) 老人デイサービスセンター・老人福祉センター等	21
		(2) 更生施設	0
		(3) 助産施設・保育所・幼保連携型認定こども園等	30
		(4) 児童発達支援センター等	0
		(5) 身体障害者福祉センター・地域活動支援センター等	10
	ニ	幼稚園・特別支援学校	6
	7		小、中、高校・各種学校
8		図書館・博物館・美術館	5
9	イ	特殊浴場	2
	ロ	公衆浴場	5
10		車両の停車場	1
11		神社・寺院	9
12	イ	工場・作業場	300
	ロ	テレビスタジオ	0
13	イ	自動車車庫・駐車場	10
	ロ	飛行機の格納庫	0
14		倉庫	142
15		前各号以外の事業所	201
16	イ	特定の複合用途防火対象物	95
	ロ	その他の複合用途防火対象物	22
17		文化財	4
合計			2,003

※棟別で延べ面積150㎡以上

中高層建築物件数

令和2年3月31日現在

階数	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	計
件数	223	53	47	18	15	6	3	5	0	2	1	1	374

予防技術資格者配置状況調査

予防技術資格者 … 消防本部及び消防署等の機関には、建築物の大規模化・複雑化等に伴い高度化・専門化する予防業務を的確に行うため、火災の予防に関する高度な知識及び技術を有する「予防技術資格者」を配置することとされています。
 ※「消防力の整備指針第34条第3項の規定に基づき、予防技術資格者の資格を定める件」

附則第4項適用者※1… 資格者告示附則第4項各号(同項第1号中「予防業務に通算して5年以上従事し」とあるのは「消防職員拝命後、通算して5年以上予防業務に従事した経験を有する職員」とする。)に該当した職員であって、平成23年3月31日までに、消防長が予防技術資格者と認定した職員

令和2年3月31日

予防関係業務の係等の数		5	
予防関係業務の係等のうち予防技術資格者を配置している係等の数		5	
予防技術資格者配置率		100%	
予防技術資格者数	防火査察専門員	検定合格者	12
		附則第4項適用者 ※1	5
		合計	17
	消防用設備等専門員	検定合格者	2
		附則第4項適用者 ※1	3
		合計	5
	危険物専門員	検定合格者	4
		附則第4項適用者 ※1	4
		合計	8

防火対象物表示制度に係る申請数調査

防火対象物表示制度
(適マーク制度) ... 宿泊施設からの申請に基づいて、消防機関が審査した結果、消防法令のほか、重要な建築構造等に関する基準に適合していると認められた建物に対し、「適マーク」を交付する制度です。
宿泊施設が「適マーク」を掲出することにより、建物の安全・安心に関する情報を利用者に提供することが可能となります。〔適マーク制度〕の対象となるのは、収容人員が30人以上で、地階を除く階数が2階以上の宿泊施設です。

平成26年8月1日運用開始

「適マーク」の種類 ... 「適マーク」には金色と銀色の2種類があります。
消防機関が審査した結果、表示基準に適合していると認められた場合は、「適マーク（銀）」が交付されます。3年間継続して表示基準に適合していると認められた場合は、「適マーク（金）」が交付されます。

令和2年3月31日

防火対象物区分	用途	表示制度の対象となる防火対象物	表示マーク（銀）交付申請数		表示マーク（銀）交付済対象物	表示マーク（銀）返却対象物
			表示マーク（銀）交付対象物	うち基準不適合数（銀）		
防火対象物区分	5 項 イ	107	0	0	0	0
	16 項 イ	0	0	0	0	0
	用途	表示制度の対象となる防火対象物	表示マーク（金）交付申請数		表示マーク（金）交付済対象物	表示マーク（金）返却対象物
			表示マーク（金）交付対象物	うち基準不適合数（金）		
	5 項 イ	107	4	4	0	0
	16 項 イ	0	0	0	0	0

5項イ… 旅館、ホテル、宿泊所その他これらに類するもの

16項イ… 複合用途防火対象物のうち、その一部が(1)項から4項まで、(5)項イ、(6)項又は(9)項イに掲げる防火対象物の用途に供されているもの

着工・設置届出等受理状況

令和元年度中

	着工	設置	検査済	点検報告
自動火災報知設備	44	99	111	598
ガス漏れ火災警報器				8
スプリンクラー設備	5	10	11	67
屋内消火栓設備	1	4	4	154
漏電火災警報器		1	1	26
水噴霧消火設備等				
非常警報設備		12	11	223
屋外消火栓設備	1	4	3	35
避難器具	2	4	8	131
排煙設備				22
誘導灯	1	58	78	607
非常コンセント				4
動力消防ポンプ	1	1	1	4
消防用水		1	1	9
連結散水設備				2
連結送水管	1	2	2	36
専用受電				15
自家発電			1	82
蓄電池				42
燃料電池				1
消火器具		49	60	834
放送設備	1	8	14	137
泡消火設備				1
二酸化炭素設備				6
ハロゲン消火栓設備				8
粉末消火設備				22
誘導標識		19	23	216
無線通信補助設備				
消防機関へ通報する火災報知設備	9	5	13	151
火災通報装置（加入電話）		1	6	106
パッケージ型消火設備	4	2	4	45
防火戸・防火シャッター			1	
その他				48
計	70	280	353	3640
消防用設備等検査済証交付件数	280			

建築同意届出件数

令和元年度中

項	防火対象物	構造別	新築	増築	改築	用途変	その他	計
1	イ	劇場・映画館						
	ロ	公会堂・集会場	1					1
2	イ	キャバレー・ナイトクラブ						
	ロ	遊技場・ダンスホール						
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等						
	ニ	カラオケボックス・個室形態営業店舗等						
3	イ	待合・料理店						
	ロ	飲食店						
4		百貨店・物品販売	3					3
5	イ	旅館・ホテル		1			1	2
	ロ	寄宿舍・共同住宅	1					1
6	イ	病院・診療所						
	ロ	老人福祉施設等又は救護施設等	1					1
	ハ	老人デイサービスセンター等・保育所	1	1				2
	ニ	幼稚園・特別支援学校						
7		小、中、高校・各種学校						
8		図書館・美術館						
9	イ	特殊浴場						
	ロ	公衆浴場						
10		車両の停車場						
11		神社・寺院						
12	イ	工場・作業場	7	1				8
	ロ	テレビスタジオ						
13	イ	自動車車庫・駐車場	8	1				9
	ロ	飛行機の格納庫						
14		倉庫	10	1				11
15		前各号以外の事業所	13					13
16	イ	特定の複合用途防火対象物	1			1		2
	ロ	その他の複合用途防火対象物						
合 計			46	5		1	1	53

各種届出状況

令和元年度中

内 容	件 数
防火管理者選任（解任）届	182
防火対象物使用開始届	129
消防計画作成（変更）届	254
消防用設備等点検結果報告書	774
圧縮アセチレンガス、液化石油ガス等貯蔵取扱開始届	45
多量の可燃性ガス又は蒸気を発生する炉	4
ボイラーまたは入力70キロワット以上の給湯湯沸設備設置届	9
サウナ設備設置届	0
乾燥設備設置届	4
高圧又は特別高圧の変電設備設置届	18
内燃機関による発電設備設置届	6
燃料電池発電設備設置届	0
蓄電池設備設置届	2
ヒートポンプ冷暖房機設置届	0
指定数量未満の危険物等の貯蔵又は取扱の届出	44
揚煙届	399
煙火の打ち上げ、仕掛け届	153
道路工事	72
計	2,095

危 険 物



ミニローリー 検査状況

危険物施設状況

令和2年3月31日現在

		製造所等												
		計	貯蔵所							取扱所				製造所
			小計	屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	一般取扱所	第二種取扱販売所	
	平成27年度	306	217	13	24	6	127	46	1	89	62	26	1	0
	平成28年度	302	213	13	16	6	128	49	1	89	62	26	1	0
	平成29年度	295	206	13	16	6	126	44	1	89	62	26	1	0
	平成30年度	285	198	13	16	6	118	45	0	87	62	24	1	0
	令和元年度	283	200	14	16	6	113	51	0	83	57	25	1	0
数量	5倍以下	140	131	7	9	5	80	30	0	9	3	6		
	5倍を超え10倍以下	50	31	2	2	1	21	5		19	8	11		
	10倍を超え50倍以下	44	21	5	5		10	1		23	16	6	1	
	50倍を超え100倍以下	24	13				1	12		11	9	2		
	100倍を超え150倍以下	8	3					3		5	5			
	150倍を超え200倍以下	6	1				1			5	5			
	200倍を超え1000倍以下	11	0							11	11			
類別	第1類	1	1	1						0				
	第2類	0	0							0				
	第4類	280	198	12	16	6	113	51	0	82	57	24	1	
	混在	2	1	1						1		1		

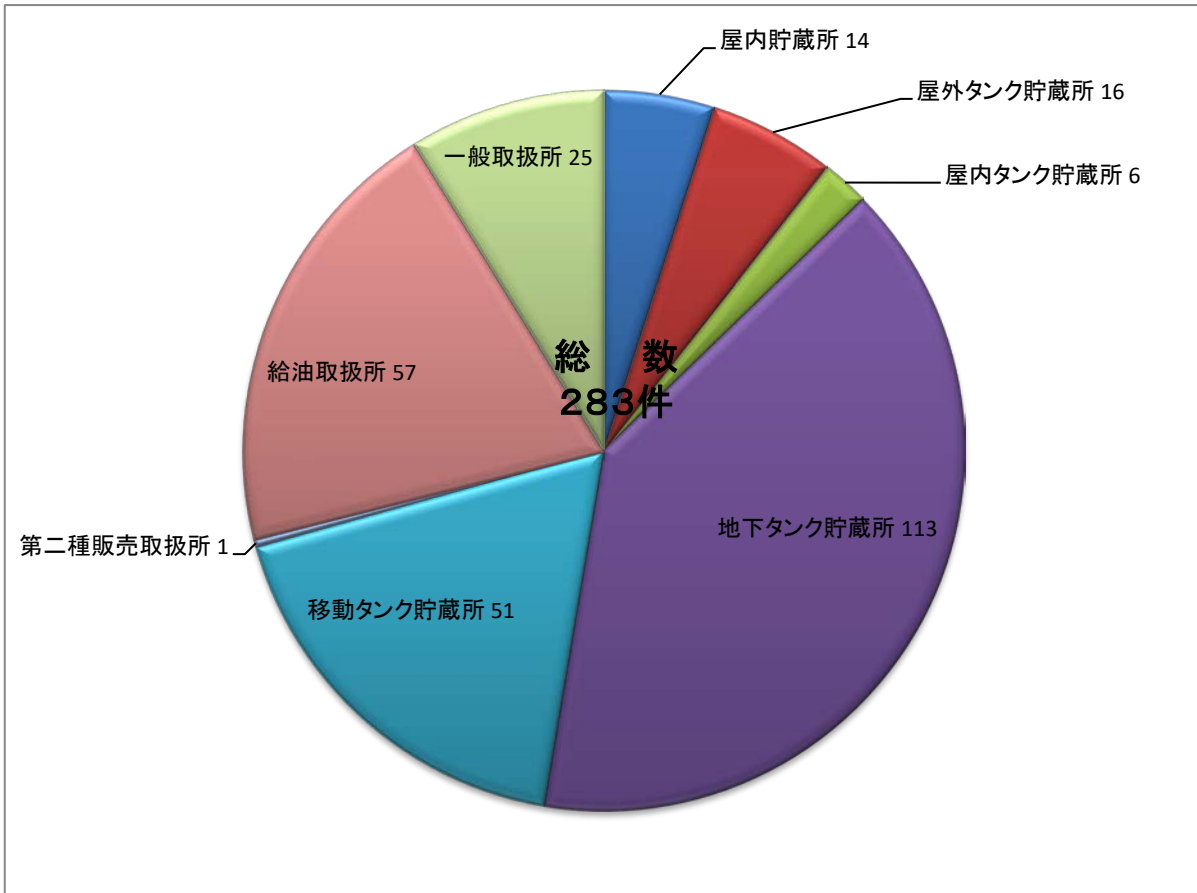
※給油取扱所（営業用 28件）（自家用 29件）

指定可燃物・少量危険物施設届出状況

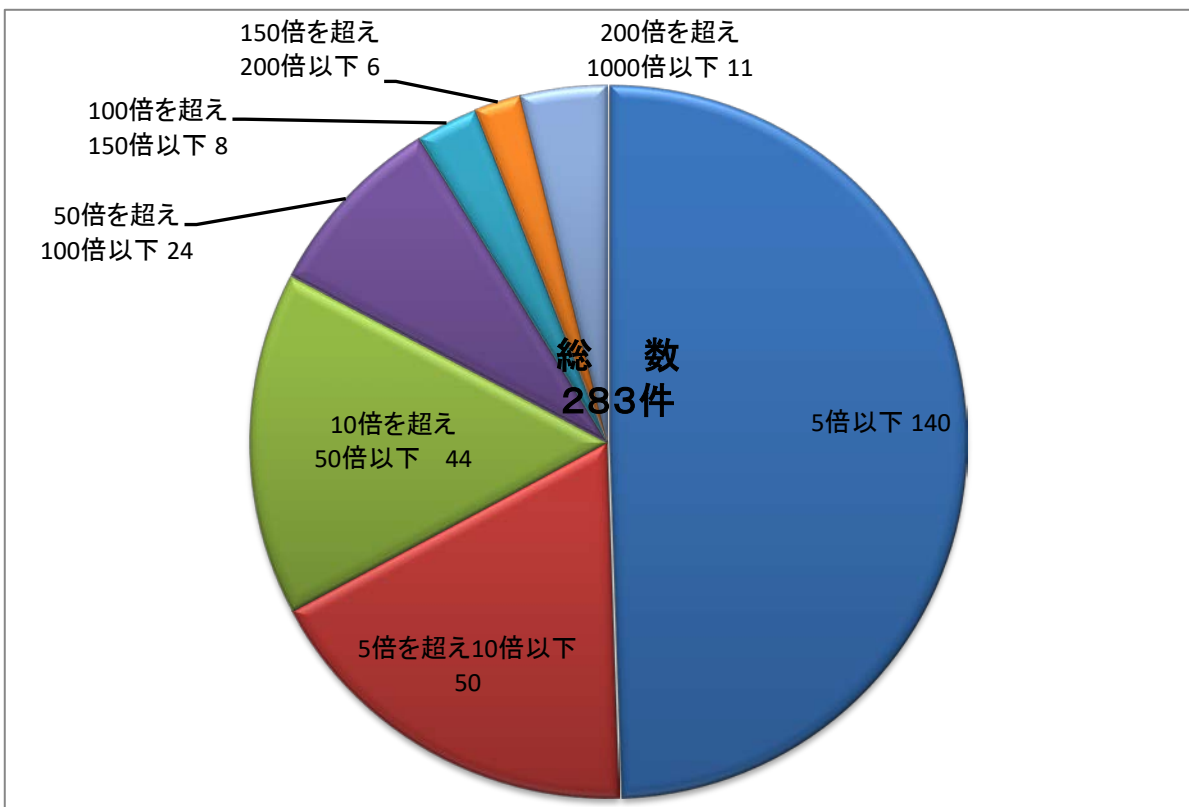
指定可燃物等					少量危険物
可燃性固体	可燃性液体類	合成樹脂類	再生資源燃料	その他	総数(移動タンク)
5	9	34	3	15	1,177(44)

危険物施設比較表

①危険物施設別比較グラフ



②指定数量別別比較グラフ



事務処理等実施状況

申請等件数

令和元年度中

設置許可申請書	変更許可申請書	完成検査申請		完成検査前検査申請	仮使用承認申請	仮貯蔵取扱承認申請	廃止届	資料提出	品名数量変更届	予防規程認可申請	保安監督者選解任届
		設置許可	変更許可								
4	17	4	16	0	14	0	7	16	3	9	18

立入検査状況

令和元年度中

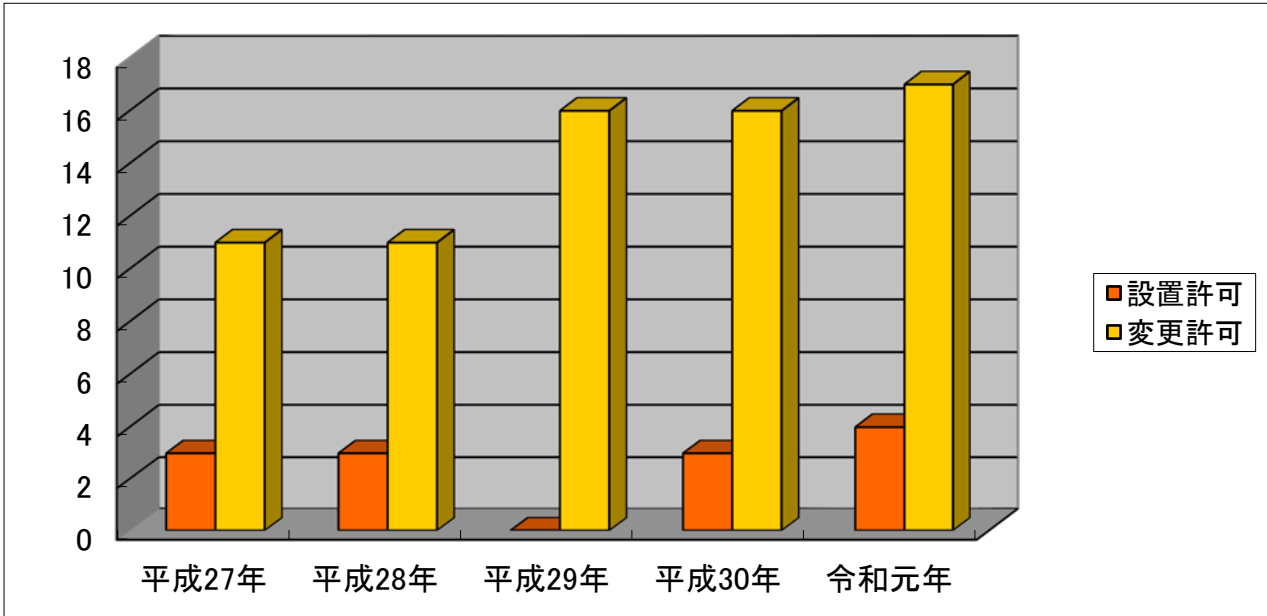
	計	貯蔵所						取扱所			製造所
		屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	給油取扱所（自家用）	一般取扱所	第二種販売取扱所	
危険物施設数	283	14	16	6	113	51	0	57 (29)	25	1	0
検査施設数 (延べ回数)	167	2	7	3	43	48	0	52 (25)	11	1	0

※（ ）内は自家用給油取扱所

過去5年間設置・変更状況

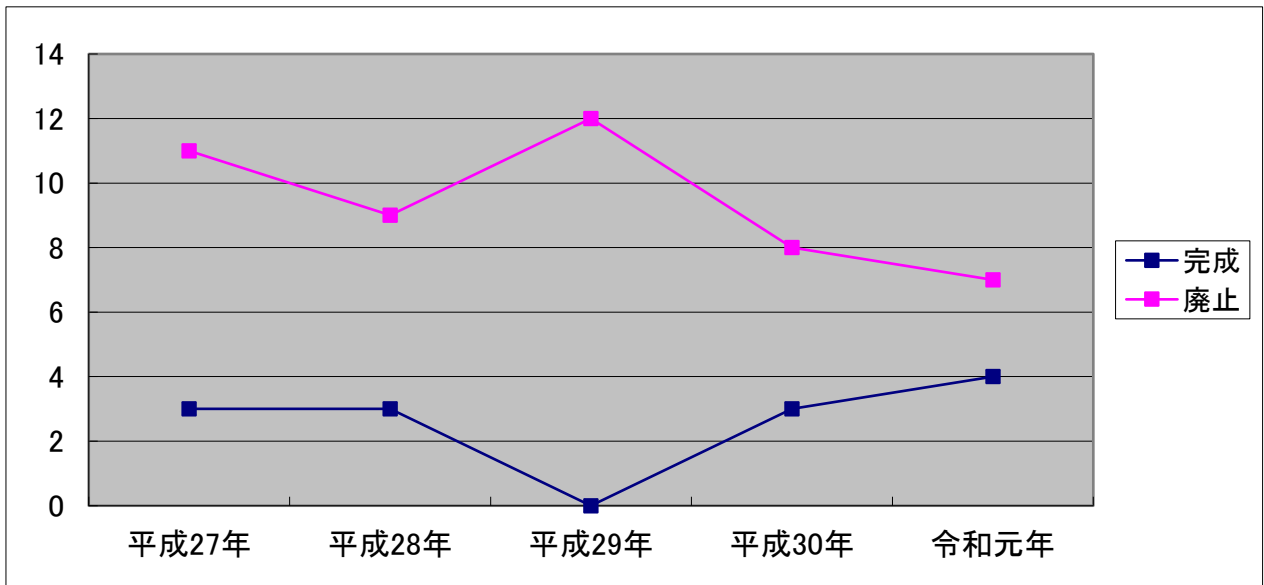
	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
設置許可	3	3	0	3	4
変更許可	11	11	16	16	17

< 設置許可、変更許可件数 >



	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
完成	3	3	0	3	4
廃止	11	9	12	8	7

< 完成検査済証交付(設置)、廃止届件数 >



広 報 ・ 訓 練



峡東保健所合同 新型インフルエンザ対応訓練

広報・訓練

第38回防火図画・ポスターコンクール 最優秀賞作品

▶防火ポスター最優秀賞
 あめ みや ふく と
雨宮福歩
 一宮南小学校(四年)



ひとつずつ 令和元年度 笛吹市内小学校
 防火図画・ポスターコンクール(第38回)
いいね! で確認火の用心



◀防火図画最優秀賞
 みや の かけ る
宮野翔瑠
 石和南小学校(四年)

  **住宅用火災警報器を設置しましょう!**

住宅用火災警報器はすべての住宅につけなければなりません。(平成23年6月1日施行)
 住宅用火災警報器の設置によって火事でお亡くなりになった方は約3分の1まで減少しています。

お問い合わせは「笛吹市消防本部」
 電話 **055-261-0119** 

全国消防イメージキャラクター「ほむ」

広報実施状況

令和元年度中

種 別		対 象	回数	人員又は 数 量	備 考	
火 災	巡 回 広 報	一 般 住 民	315		消防車両により、火災予防週間、年末年始等に巡回広報を実施	
	懸垂幕・看板等の掲示	〃	通年	標語5ヶ所 看板山火事 予防24ヶ所	春・秋季火災予防運動期間中及び年間防火標語の掲示	
	施 設 見 学	小 学 生	12	662人	消防署見学の折、火災予防の重要性及び消防業務に対する理解を深める。	
		保 育 園 等	4	97人		
一 般 住 民		通年				
広 報	防 火 資 料 の 配 布	防 火 ポ ス タ ー	事 業 所 ・ 自 治 会 等	1	900枚	秋季火災予防運動中に配布
		防 火 チ ラ シ	全 世 帯	1	約29,000戸	山梨信用金庫様から寄贈された防火チラシを全世帯に配布
		文 具 セ ッ ト	保 育 園 児 等	4	100個	管内保育園児へ広報物品の配布
		文 具	小 学 生 等	12	700個	管内小学生等が見学のため来署時に配布し、消防に対する理解を深める。
救 急 広 報	救 急 の 日 チ ラ シ	救急の日イベント参加者（一般住民）	1	1,000枚	9月9日、市内で救急の日広報イベントを実施	

住宅防火診断実施状況

A 人口（人）	68,833
B 65才以上	20,467
B / A 比率 %	29.73%
住宅防火診断実施件数	9

※ 人口は、令和2年6月1日現在

※ 住宅防火診断は、笛吹市在住の独居高齢者宅等(65歳以上)を対象

※ 上記比率は外国人を含む比率

通信・気象



笛吹市消防本部 高機能消防指令センター

通 信

有線電話（加入）

（令和2年4月1日現在）

種 別	摘 要	局 数
笛吹市消防本部（署）	（代）055（261）0119（4局）	4
東 部 出 張 所	0553（47）3119	1
西 部 出 張 所	055（266）7119	1

携帯電話

種 別	摘 要	局 数
笛吹市消防本部（署）	消防課×1 予防課×1 消防署×1 指揮隊×1 救急車×3	7
東 部 出 張 所	救急車	1
西 部 出 張 所	救急車	1
芦 川		1

消防無線電話等

配置	局別	基地局	移動局 車載	移動局 携帯	移動局 可搬	移動局 卓上	計	受令機
笛吹市消防本部（署）		2	24	34	2	1	63	4
東 部 出 張 所			2	3		1	6	1
西 部 出 張 所			2	3		1	6	1
笛 吹 市						2	2	47
計		2	28	40	2	5	77	53

通信指令センター設備等

品 名	数 量	品 名	数 量
指令台	2台	無線統制台	1式
自動出動指定装置	2式	指令情報送信装置	1式
地図等検索装置	2式	指令情報出力装置（本部、本署、東部、西部）	4式
長時間録音装置	1台	気象情報収集装置	1式
非常用指令設備	1台	災害状況等自動案内装置	1式
指令制御装置	1式	順次指令装置	1式
携帯電話・IP電話受信転送装置	1式	音声合成装置	1式
署所端末装置（本部、本署、東部、西部）	4式	出動車両運用管理装置	1式
無線バックアップ用受令機（東部、西部）	2式	車両運用末端装置（Ⅲ型）	16式
車両運用表示盤	1面	車外設定端末装置	9式
支援情報表示盤	1面	システム監視装置	1式
多目的情報表示盤	1式	無停電電源装置（指令センター、芦川）	2式
映像制御装置	1式	無停電電源装置（本署、東部、西部）	3式
災害情報表示盤	1式	直流電電装置（指令センター、芦川）	2式
統合型位置情報通知装置	1式	直流電電装置（本署、東部、西部）	3式
支援情報表示装置	1式	非常用発電機（芦川、東部、西部）	3式
重要着信事案表示灯	2式	消防OAシステム	1式
セキュリティシステム	1式	駆込通報装置（本署、東部、西部）	3式
配線架台（IDF）	1式	避雷設備（基地局）	1式
FAX119受信装置	1式	E m - N e t 受信装置	1式

気 象

観測場所：笛吹市消防本部 令和元年中

瞬間最大風速 7 m/s以上の月別区分

月 別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
日 数	15	10	21	24	20	18	14	18	17	10	5	7	179

月別気象統計

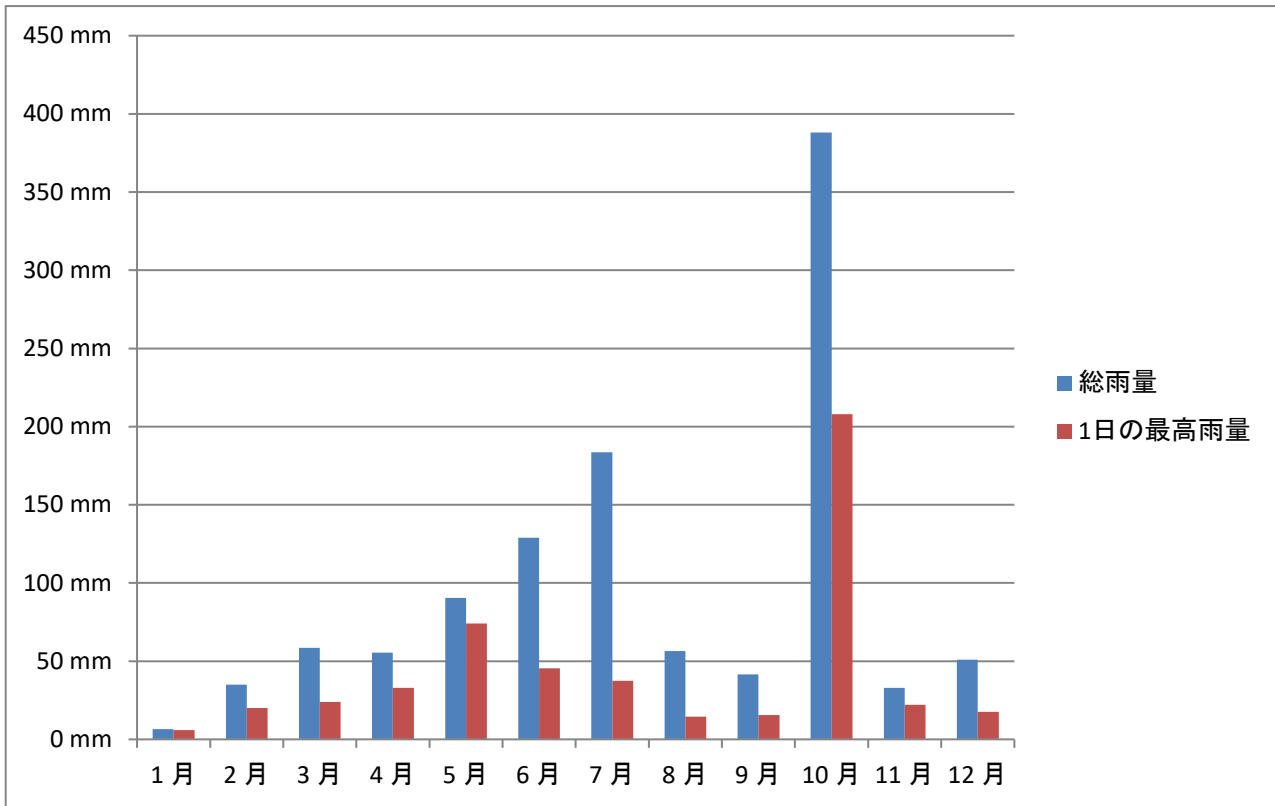
区 分	項目	月											
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
風 速	平 均	1.3	1.1	1.4	1.5	1.3	1.3	1.2	1.2	1.2	1.1	1.0	1.0
	瞬間最大	18.3	18.3	16.3	18.8	11.8	12.1	10.1	17.1	14.0	19.6	10.6	19.9
気 温	平 均	3.0	5.8	9.5	13.6	19.3	22.3	25.0	28.2	25.2	19.0	11.4	6.6
	最 高	16.3	19.5	25.9	29.9	36.8	35.3	38.1	39.3	38.3	32.6	24.5	18.3
	最 低	-7.3	-5.7	-2.4	-1.1	4.0	13.2	17.8	20.7	14.7	10.4	-2.2	-2.9
湿 度	平 均	56.0	63.4	58.8	58.0	62.9	74.9	84.8	77.8	75.5	81.4	78.1	76.1
	最 大	98.4	98.8	98.6	98.4	98.4	98.5	98.4	98.3	98.4	98.7	98.7	98.9
	最 少	11.4	9.2	10.1	8.3	10.8	20.0	45.0	29.9	29.8	34.0	25.4	21.0
雨 量	総 雨 量	6.5	35.0	58.5	55.5	90.5	129.0	183.5	56.5	41.5	388.0	33.0	51.0
	1 日 の 最 高	6.0	20.0	24.0	33.0	74.0	45.5	37.5	14.5	15.5	208.0	22.0	17.5

※年間総雨量・・・1128.5 mm

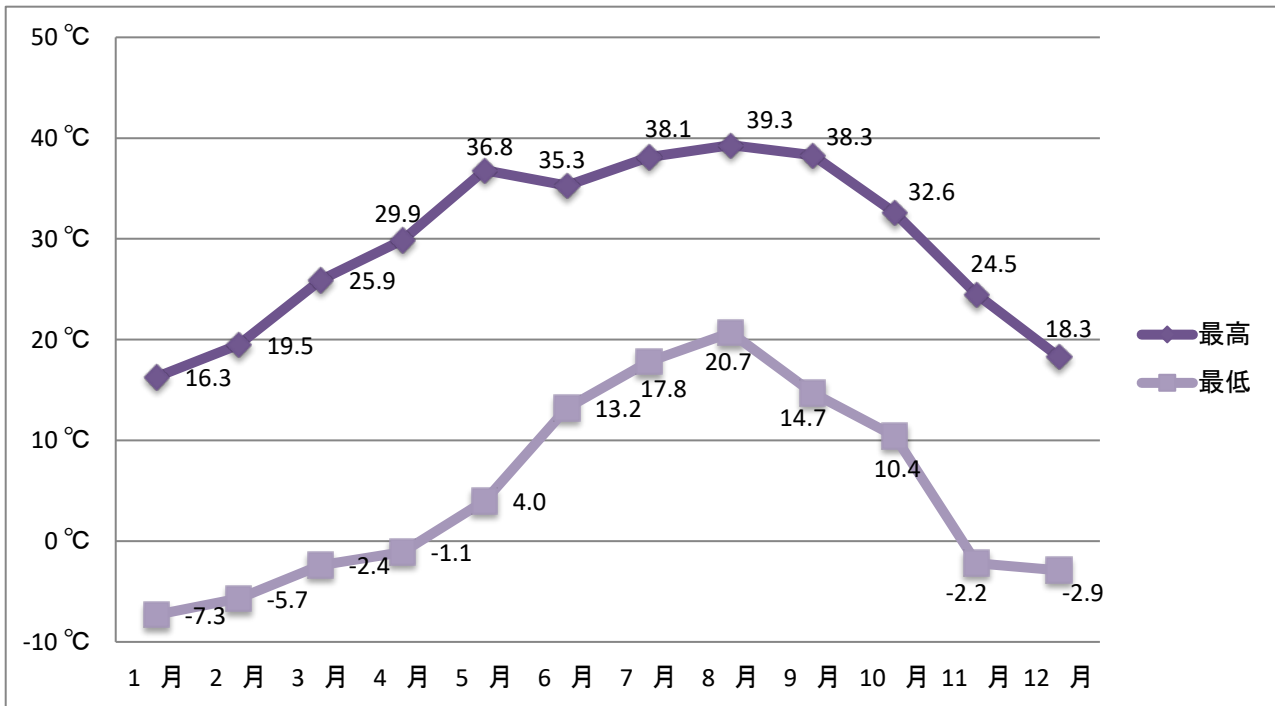
※湿度については相対湿度

月別雨量比較

観測場所：笛吹市消防本部 令和元年中



最高最低気温比較



消 防 団 等



令和2年1月5日
笛吹市消防団出初式

消防団概要(団員等)

令和2年4月1日現在

区分 町名	分 団 数	部 (隊) 数	団 員 数										市 街 地	密 集 地	団 員 の 職 業 ・ 年 齢					
			定 数	現 員 数	階 級 別							職 業 別 数					平 均 年 齢			
					団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	副 部 長	班 長	団 員			会 社 員	公 務 員		自 営 業	団 体 職 員	そ の 他
石 和		16	314	314			1	2	14	18		278	1	5	214	36	29	12	23	35.2
御 坂		15	327	323			1	2	14	14		290		14	241	35	23	19	5	35.4
一 宮		22	397	383			1	2	22	22		336		14	316	32	15	7	13	36.2
八 代	7	9	208	206	1	2	1	2	9	9		185		7	140	26	14	19	7	34.7
境 川		12	213	213			1	2	13	13		184		13	159	25	9	8	12	37.0
春日居		7	188	186			1	2	7	7		169		6	127	19	27	4	9	36.2
芦 川		2	50	44			1	1	2	2		38		4	13	9	16	0	6	52.8
ラップ隊 (機能別隊 員)			20	2								2			2					30.0
女性消防 隊(機能別 隊員)			15	17					1	1		15				17				26.0
学生防災サポ ーター(機能別 隊員)			15	0								0							0	0.0
計	7	83	1,747	1,688	1	2	7	13	82	86		1,497	1	63	1,212	199	133	69	75	35.9

※ 消防団数 …… 1団

消防団概要（車両・装備等）

令和2年4月1日現在

区分 町別		車両及びポンプ車						防災無線			施設	
		消防ポンプ車	水槽付ポンプ車	小型ポンプ積載車	水槽車（ミニポンプ付）	その他の車両	ポンプ専用ミニポンプ	端末機	移動局車両用	移動局携帯用	車庫	詰所
吹 笛 市	石和	4	4	4	9	3		2	11	18	14	15
	御坂	1	1	13	4	1		1	4	6	17	11
	一宮	2	1	14	3	1		1	4	7	18	15
	八代	3		6	2	1		1	4	6	9	9
	境川	2		10	2	1		1	4	8	12	12
	春日居	1		4	2	1		1	4	6	7	7
	芦川			4	1	1		1	4	2	4	4
計		13	6	55	23	9	0	8	35	53	81	73

※ 消防団数 1団